

TERG

Discussion Paper No.493

能登半島地震に関するアンケート調査
(基本集計結果)

陳鳳明，吉田浩

2025 年 1 月 14 日

TOHOKU ECONOMICS RESEARCH GROUP
Discussion Paper

GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS AND
MANAGEMENT TOHOKU UNIVERSITY
27-1 KAWAUCHI, AOBA-KU, SENDAI,
980-8576 JAPAN

能登半島地震に関するアンケート調査
(基本集計結果)

陳 鳳明[†], 吉田 浩[‡]

概要

令和5年5月5日14時42分、石川県能登半島沖(震源の深さ約12km)を震源とするマグニチュード6.5の地震(以下、「奥能登地震」と称する)が発生した。その後、令和6年1月1日16時10分には石川県能登地方でマグニチュード7.6の地震(以下、「能登半島地震」と称する)が発生した。本調査の目的は、令和5年11月9日から12日にかけて実施された「奥能登地震に関するアンケート調査」の回答者を対象に、令和6年能登半島地震直後の状況等について学術的な調査を行うことである。

今回の調査では、1,030名のモニター会員のうち、744名より回答を得た。本調査は、東北大学大学院経済学研究科の研究倫理審査委員会の承認を得て、2024年12月13日から23日にかけて実施された。

調査結果によれば、震災後最初に連絡を取ろうとした相手について、「両親」と回答した方が37.1%で最も多く、続いて「配偶者」が21.2%である。また、情報の入手方法(複数回答可)については、「テレビ」と回答した方の割合は72.8%であり、インターネットのWEBサイトから情報を入手するという回答は4割に達している。

本調査は特別研究促進費(課題番号:23K17482)及び東北大学社会にインパクトある研究の助成を受けたものである。

[†] 東北大学大学院経済学研究科 特任助教 fengming.chen.d2@tohoku.ac.jp

[‡] 東北大学大学院経済学研究科 教授 hiroshi.yoshida.e2@tohoku.ac.jp

能登半島地震に関するアンケート調査

目次

- A. 全体の集計結果
- B. 男女別の集計結果
- C. 年齢別の集計結果
- D. 能登半島地震に関するアンケート調査票

A. 全体の集計結果

Q1. 能登半島地震発生当日から翌日にかけて、どのような場所で過ごされましたか。※複数の場所で過ごされた方は、もっとも滞在時間の長いものをお選びください。

表 A1 滞在場所について

	N	%
全体	744	100.0
1. 自宅（被害なし）	502	67.5
2. 自宅（被害あり）	149	20.0
3. 友人・知人・親戚宅に移動	24	3.2
4. 勤務先の建物内	9	1.2
5. 官公庁の建物（例、市役所・町役場・県庁）内	8	1.1
6. 学校等	6	0.8
7. 病院、介護施設等	2	0.3
8. その他公共施設（例、体育館・公民館・競技場・ラウンド）	9	1.2
9. 民間宿泊施設・ホテル	1	0.1
10. その他の民間施設（ショッピングセンターや商業施設等）	4	0.5
11. 路上・野原・河原・公園等	0	0.0
12. 公共交通施設（例、駅構内）	0	0.0
13. 車の中	13	1.7
14. 寺院、神社、教会等の宗教施設	3	0.4
15. その他	14	1.9

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（%）を表す。

Q2. 能登半島地震後、あなたが最初に連絡を取ろうとした方はどなたですか。次のうちから1つお選びください。実際に連絡がついたかどうかに関わらずお選びください。※あなたからみた続柄でお答えください。

表 A2 震災後最初に連絡を取ろうとした方について

	N	%
全体	744	100.0
1. 配偶者	158	21.2
2. 両親	276	37.1
3. 子ども	100	13.4
4. 仕事の関係者	36	4.8
5. 友人・知人	64	8.6
6. 親戚	77	10.3
7. その他	33	4.4

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（％）を表す。

Q3. あなたは能登半島地震発生時、おもにどのように災害・避難情報を入手しましたか。次のうち当てはまるものをすべてお選びください。

表 A3 情報の入手方法（複数回答）

	N	%
全体	744	－
1. テレビ	542	72.8
2. ラジオ	77	10.3
3. 携帯電話やカーナビゲーションのワンセグテレビ	81	10.9
4. 電子メールやツイッター（X）等	137	18.4
5. インターネットのWEBサイト	298	40.1
6. 新聞	79	10.6
7. 役所、警察、消防などの発表	73	9.8
8. クチコミ、人付けに聞いて	61	8.2
9. 避難所などの掲示	33	4.4
10. その他の手段	5	0.7
11. 災害・避難情報は入手しなかった/できなかった	52	7.0

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（％）を表す。

Q4. あなたは能登半島地震が起きた時、どのようなことが不安でしたか。次のうちから主なものを3つまでお選びください。

表 A4 地震が起きた時の不安（内容）について（複数回答）

	N	%
全体	744	－
1. 家族・親戚の安否	259	34.8
2. 友人・知人の安否	143	19.2
3. 自宅住居の被害状況	220	29.6
4. 自家用車の被害状況	18	2.4
5. 勤務先の被害状況	58	7.8
6. 通信の断絶	61	8.2
7. 交通のマヒ	69	9.3
8. 電気・ガス・水道の利用ができないこと	173	23.3
9. 原子力発電所の状況	57	7.7
10. さらなる地震の発生	412	55.4

11. 火災の発生	48	6.5
12. 食料品等の不足	104	14.0
13. 病院や薬の入手ができなくなる事	14	1.9
14. その他	26	3.5
15. 不安に思うことはなかった	50	6.7

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（%）を表す。

Q5. 能登半島地震の時に一番頼りになった人は次のうちどれですか。次のうちから1つお選びください。

表 A5 一番頼りになった人

	N	%
全体	744	100.0
1. 内閣総理大臣・各省大臣	0	0.0
2. 都道府県知事	3	0.4
3. 市町村長	4	0.5
4. 国会議員	0	0.0
5. 市町村の職員	11	1.5
6. 教師	0	0.0
7. 警察	5	0.7
8. 消防	5	0.7
9. 自衛隊	70	9.4
10. 町内会、近隣の人々	41	5.5
11. 家族、親戚	266	35.8
12. 職場の人々	20	2.7
13. ボランティア、NPO	7	0.9
14. その他	4	0.5
15. 特にいない	308	41.4

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（%）を表す。

Q6. 避難所でどのような点が今後改善されるべきだと思いますか。次のうちあなたが思うものを 2 つまでお選びください。※避難所を利用したことが無い方も、利用するときを想定してお答えください。

表 A6 避難所の要改善点（複数回答）

	N	%
全体	744	-
1. 行政からの情報の不足	54	7.3
2. 携帯電話など通信・情報手段の不足	65	8.7
3. 安否情報の確保	46	6.2
4. 食べ物や飲料の不足	173	23.3
5. 電気の利用の不自由	51	6.9
6. トイレなど衛生面	346	46.5
7. プライベートな空間の確保	160	21.5
8. 女性への配慮	85	11.4
9. 施設内の警備の強化	24	3.2
10. 子ども、高齢者、障害者の優先的なケア	78	10.5
11. 防寒対策または冷房などの空調	149	20.0
12. マスコミの取材などの集中	17	2.3
13. その他	8	1.1
14. 特にない	76	10.2

注：表の 2 列目は回答者数（人）、3 列目は全体（744 件）に対する比率（%）を表す。

Q7. あなたは現在どのような防災対策を行っていますか。以下の項目についてそれぞれひとつずつお選びください。

表 A7 防災対策の状況について

	全体	1. 能登半島地震 前からしている	2. 能登半島地震を 受けてしはじめた	3. して いない
懐中電灯など携帯照明器具の 準備	744 100.0	417 56.0	93 12.5	234 31.5
携帯ラジオなど情報端末の準備	744 100.0	231 31.0	69 9.3	444 59.7
非常用持ち出し袋の準備	744 100.0	226 30.4	123 16.5	395 53.1
食料品・飲料水の準備	744 100.0	289 38.8	165 22.2	290 39.0

家具等室内の転倒防止措置	744	198	93	453
	100.0	26.6	12.5	60.9
地震保険への加入	744	292	46	406
	100.0	39.2	6.2	54.6
自宅の耐震補強	744	157	41	546
	100.0	21.1	5.5	73.4
家族で地震対策について話し合うこと	744	200	196	348
	100.0	26.9	26.3	46.8
災害時の連絡手段を決めておくこと	744	164	134	446
	100.0	22.0	18.0	59.9
地震発生後の避難場所を決めておくこと	744	213	123	408
	100.0	28.6	16.5	54.8
その他	557	20	21	516
	-	2.7	2.8	69.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体（744 件）に対する比率（％）を表す。「その他」についての無回答は 187 件である。

Q8. 能登半島地震前と比べて以下の項目についてお選びください。

表 A8 地震前の状況について

	全体	1. 悪くなった	2. 変わらない	3. 良くなった
収入や経済生活	744	99	619	26
	100.0	13.3	83.2	3.5
お住まいの住環境	744	99	626	19
	100.0	13.3	84.1	2.6
地域住民とのコミュニケーション状況	744	40	677	27
	100.0	5.4	91.0	3.6
家族との関係	744	18	668	58
	100.0	2.4	89.8	7.8
知的判断力	744	26	673	45
	100.0	3.5	90.5	6.0
視力の状況	744	70	663	11
	100.0	9.4	89.1	1.5
身体全般についての健康状態	744	87	635	22
	100.0	11.7	85.3	3.0

こころについての健康状態	744	149	578	17
	100.0	20.0	77.7	2.3
仕事や生活への意欲	744	98	617	29
	100.0	13.2	82.9	3.9
夜間の睡眠状況	744	126	602	16
	100.0	16.9	80.9	2.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体(744 件)に対する比率（％）を表す。

Q9. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震の避難状況についてお答えください。

表 A9 避難状況について

	N	%
全体	744	100.0
1. 令和 5 年の奥能登地震の時のみ避難行動をとった	32	4.3
2. 令和 6 年の能登半島地震の時のみ避難行動をとった	207	27.8
3. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震の両方で避難行動をとった	33	4.4
4. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震のいずれでも避難行動をとらなかった	472	63.4

注：表の 2 列目は回答者数（人）、3 列目は全体（744 件）に対する比率（％）を表す。

表 A10 参加者の年齢分布

	N	%
全体	744	100.0
1. 20 才～24 才	20	2.7
2. 25 才～29 才	48	6.5
3. 30 才～34 才	61	8.2
4. 35 才～39 才	79	10.6
5. 40 才～44 才	69	9.3
6. 45 才～49 才	88	11.8
7. 50 才～54 才	102	13.7
8. 55 才～59 才	97	13.0
9. 60 才以上	180	24.2

注：表の 2 列目は回答者数（人）、3 列目は全体（744 件）に対する比率（％）を表す。

表 A11 男女比

	N	%
全体	744	100.0
1. 男性	389	52.3
2. 女性	355	47.7

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（%）を表す。

表 A12 世帯年収について

	N	%
全体	744	100.0
1. 200 万未満	54	7.3
2. 200～400 万未満	124	16.7
3. 400～600 万未満	160	21.5
4. 600～800 万未満	112	15.1
5. 800～1000 万未満	75	10.1
6. 1000～1200 万未満	33	4.4
7. 1200～1500 万未満	11	1.5
8. 1500～2000 万未満	4	0.5
9. 2000 万円以上	1	0.1
10. わからない	90	12.1
11. 無回答	80	10.8

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（%）を表す。

表 A13 個人年収について

	N	%
全体	744	100.0
1. 200 万未満	218	29.3
2. 200～400 万未満	184	24.7
3. 400～600 万未満	143	19.2
4. 600～800 万未満	35	4.7
5. 800～1000 万未満	27	3.6
6. 1000～1200 万未満	5	0.7
7. 1200～1500 万未満	1	0.1
8. 1500～2000 万未満	2	0.3
9. 2000 万円以上	0	0.0

10. わからない	52	7.0
11. 無回答	77	10.3

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（％）を表す。

B. 男女別の集計結果

Q1. 能登半島地震発生当日から翌日にかけて、どのような場所で過ごされましたか。※複数の場所で過ごされた方は、もっとも滞在時間の長いものをお選びください。

表 B1 滞在場所について

	全体	1. 自宅 (被害なし)	2. 自宅 (被害あり)	3. 友人・知人・ 親戚宅に移動	4. 勤務先 の建物内	5. 官公庁 の建物 (例、市役所・ 町役場・県庁内)	6. 学校等	7. 病院、 介護施設等	8. その他公共 施設 (例、体育館・公 民館・競技場・ラ ウンド)	9. 民間宿 泊施設・ ホテル	10. その他 の民間施設 (ショッピングセ ンターや商業施 設等)	11. 路上・ 野原・河 原・公園等	12. 公共 交通施設 (例、駅構 内)	13. 車の中	14. 寺院、 神社、 教会等の 宗教施設	15. その他
全体	744	502	149	24	9	8	6	2	9	1	4	0	0	13	3	14
	100.0	67.5	20.0	3.2	1.2	1.1	0.8	0.3	1.2	0.1	0.5	0.0	0.0	1.7	0.4	1.9
男性	389	252	85	9	5	6	3	1	5	1	2	0	0	8	3	9
	100.0	64.8	21.9	2.3	1.3	1.5	0.8	0.3	1.3	0.3	0.5	0.0	0.0	2.1	0.8	2.3
女性	355	250	64	15	4	2	3	1	4	0	2	0	0	5	0	5
	100.0	70.4	18.0	4.2	1.1	0.6	0.8	0.3	1.1	0.0	0.6	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q2. 能登半島地震後、あなたが最初に連絡を取ろうとした方はどなたですか。次のうちから 1 つお選びください。実際に連絡がついたかどうかに関わらずお選びください。

表 B2 震災後最初に連絡を取ろうとした方について

	全体	1. 配偶者	2. 両親	3. 子ども	4. 仕事の関係者	5. 友人・知人	6. 親戚	7. その他
全体	744	158	276	100	36	64	77	33
	100.0	21.2	37.1	13.4	4.8	8.6	10.3	4.4
男性	389	103	133	34	24	32	47	16
	100.0	26.5	34.2	8.7	6.2	8.2	12.1	4.1
女性	355	55	143	66	12	32	30	17
	100.0	15.5	40.3	18.6	3.4	9.0	8.5	4.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q3. あなたは能登半島地震発生時、おもにどのように災害・避難情報を入手しましたか。次のうち当てはまるものをすべてお選びください。

表 B3 情報の入手方法（複数回答）

	全体	1. テレビ	2. ラジオ	3. 携帯電話やカーナビゲーションのワンセグテレビ	4. 電子メールやツイッター（X）等	5. インターネットのWEBサイト	6. 新聞	7. 役所、警察、消防などの発表	8. クチコミ、人付けに聞いて	9. 避難所などの掲示	10. その他の手段	11. 災害・避難情報は入手しなかった/できなかった
全体	744	542	77	81	137	298	79	73	61	33	5	52
	-	72.8	10.3	10.9	18.4	40.1	10.6	9.8	8.2	4.4	0.7	7.0
男性	389	269	51	41	54	176	42	37	27	24	1	29
	-	69.2	13.1	10.5	13.9	45.2	10.8	9.5	6.9	6.2	0.3	7.5
女性	355	273	26	40	83	122	37	36	34	9	4	23
	-	76.9	7.3	11.3	23.4	34.4	10.4	10.1	9.6	2.5	1.1	6.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q4. あなたは能登半島地震が起きた時、どのようなことが不安でしたか。次のうちから主なものを3つまでお選びください。

表 B4 地震が起きた時の不安（内容）について（複数回答）

	全体	1. 家族・親戚の安否	2. 友人・知人の安否	3. 自宅住居の被害状況	4. 自家用車の被害状況	5. 勤務先の被害状況	6. 通信の断絶	7. 交通のマヒ	8. 電気・ガス・水道の利用ができないこと	9. 原子力発電所の状況	10. さらなる地震の発生	11. 火災の発生	12. 食料品等の不足	13. 病院や薬の入手ができなくなる	14. その他	15. 不安に思うことはなかった
全体	744	259	143	220	18	58	61	69	173	57	412	48	104	14	26	50
	-	34.8	19.2	29.6	2.4	7.8	8.2	9.3	23.3	7.7	55.4	6.5	14.0	1.9	3.5	6.7

男	389	119	63	119	8	36	32	42	86	22	204	26	45	6	13	30
性	－	30.6	16.2	30.6	2.1	9.3	8.2	10.8	22.1	5.7	52.4	6.7	11.6	1.5	3.3	7.7
女	355	140	80	101	10	22	29	27	87	35	208	22	59	8	13	20
性	－	39.4	22.5	28.5	2.8	6.2	8.2	7.6	24.5	9.9	58.6	6.2	16.6	2.3	3.7	5.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q5. 能登半島地震の時に一番頼りになった人は次のうちどれですか。次のうちから1つお選びください。

表 B5 一番頼りになった人

	全体	1. 内閣総理大臣・各省大臣	2. 都道府県知事	3. 市町村長	4. 国會議員	5. 市町村の職員	6. 教師	7. 警察	8. 消防	9. 自衛隊	10. 町内会、近隣の人々	11. 家族、親戚	12. 職場の人々	13. ボランティア、NPO	14. その他	15. 特にいない
全	744	0	3	4	0	11	0	5	5	70	41	266	20	7	4	308
体	100.0	0.0	0.4	0.5	0.0	1.5	0.0	0.7	0.7	9.4	5.5	35.8	2.7	0.9	0.5	41.4
男	389	0	1	4	0	5	0	5	4	38	19	100	18	4	2	189
性	100.0	0.0	0.3	1.0	0.0	1.3	0.0	1.3	1.0	9.8	4.9	25.7	4.6	1.0	0.5	48.6
女	355	0	2	0	0	6	0	0	1	32	22	166	2	3	2	119
性	100.0	0.0	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.3	9.0	6.2	46.8	0.6	0.8	0.6	33.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q6. 避難所でどのような点が今後改善されるべきだと思いますか。次のうちあなたが思うものを2つまでお選びください。※避難所を利用したことが無い方も、利用するときを想定してお答えください。

表 B6 避難所の要改善点（複数回答）

	全 体	1. 行 政か らの 情報 の不 足	2. 携 帯 電話な ど通 信・情 報手段 の不足	3. 安 否 情報 の確 保	4. 食 べ物 や飲 料の 不足	5. 電 気の 利用 の不 自由	6. ト イレ など 衛生 面	7. プ ライ ベ ートな 空間 の確 保	8. 女 性へ の配 慮	9. 施 設内 の警 備の 強化	10. 子 ども、 高齢 者、障 碍者の 優先的 なケア	11. 防 寒 対策 または 冷房な どの空 調	12. マ ス コミ の取 材な どの集 中	13. そ の 他	14. 特 に ない
全 体	744	54	65	46	173	51	346	160	85	24	78	149	17	8	76
	-	7.3	8.7	6.2	23.3	6.9	46.5	21.5	11.4	3.2	10.5	20.0	2.3	1.1	10.2
男 性	389	31	38	31	98	32	172	67	27	12	37	67	10	4	47
	-	8.0	9.8	8.0	25.2	8.2	44.2	17.2	6.9	3.1	9.5	17.2	2.6	1.0	12.1
女 性	355	23	27	15	75	19	174	93	58	12	41	82	7	4	29
	-	6.5	7.6	4.2	21.1	5.4	49.0	26.2	16.3	3.4	11.5	23.1	2.0	1.1	8.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q7. あなたは現在どのような防災対策を行っていますか。以下の項目についてそれぞれひとつずつお選びください。

表 B7 防災対策の状況について

			1. 能登半島地震 前からしている	2. 能登半島地震を 受けてしはじめた	3. して いない
懐中電灯など携帯照明器 具の準備	全 体	744	417	93	234
		100.0	56.0	12.5	31.5
	男 性	389	210	51	128
		100.0	54.0	13.1	32.9
	女 性	355	207	42	106
		100.0	58.3	11.8	29.9
携帯ラジオなど情報端末 の準備	全 体	744	231	69	444
		100.0	31.0	9.3	59.7
	男 性	389	120	42	227
		100.0	30.8	10.8	58.4

	女性	355	111	27	217
		100.0	31.3	7.6	61.1
非常用持ち出し袋の準備	全体	744	226	123	395
		100.0	30.4	16.5	53.1
	男性	389	103	62	224
		100.0	26.5	15.9	57.6
	女性	355	123	61	171
		100.0	34.6	17.2	48.2
食料品・飲料水の準備	全体	744	289	165	290
		100.0	38.8	22.2	39.0
	男性	389	141	82	166
		100.0	36.2	21.1	42.7
	女性	355	148	83	124
		100.0	41.7	23.4	34.9
家具等室内の転倒防止措置	全体	744	198	93	453
		100.0	26.6	12.5	60.9
	男性	389	104	41	244
		100.0	26.7	10.5	62.7
	女性	355	94	52	209
		100.0	26.5	14.6	58.9
地震保険への加入	全体	744	292	46	406
		100.0	39.2	6.2	54.6
	男性	389	146	27	216
		100.0	37.5	6.9	55.5
	女性	355	146	19	190
		100.0	41.1	5.4	53.5
自宅の耐震補強	全体	744	157	41	546
		100.0	21.1	5.5	73.4
	男性	389	77	19	293
		100.0	19.8	4.9	75.3
	女性	355	80	22	253
		100.0	22.5	6.2	71.3
家族で地震対策について話し合うこと	全体	744	200	196	348
		100.0	26.9	26.3	46.8
		389	105	87	197

	男性	100.0	27.0	22.4	50.6
	女性	355	95	109	151
災害時の連絡手段を決めておくこと	全体	100.0	26.8	30.7	42.5
		744	164	134	446
	男性	100.0	21.6	15.7	62.7
		389	84	61	244
	女性	100.0	22.5	20.6	56.9
		355	80	73	202
地震発生後の避難場所を決めておくこと	全体	100.0	28.6	16.5	54.8
		744	213	123	408
	男性	100.0	28.5	14.1	57.3
		389	111	55	223
	女性	100.0	28.7	19.2	52.1
		355	102	68	185
その他	全体	100.0	2.7	2.8	69.4
		557	20	21	516
	男性	100.0	3.6	2.1	72.8
		305	14	8	283
	女性	100.0	1.7	3.7	65.6
		252	6	13	233

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q8. 能登半島地震前と比べて以下の項目についてお選びください。

表 B8 地震前の状況について

			1. 悪くなった	2. 変わらない	3. 良くなった
収入や経済生活	全体	744	99	619	26
		100.0	13.3	83.2	3.5
	男性	389	56	320	13
		100.0	14.4	82.3	3.3
	女性	355	43	299	13
		100.0	12.1	84.2	3.7
住まいの住環境	全体	744	99	626	19
		100.0	13.3	84.1	2.6

	男性	389	56	319	14
		100.0	14.4	82.0	3.6
	女性	355	43	307	5
		100.0	12.1	86.5	1.4
地域住民とのコミュニケーション状況	全体	744	40	677	27
		100.0	5.4	91.0	3.6
	男性	389	26	347	16
		100.0	6.7	89.2	4.1
	女性	355	14	330	11
		100.0	3.9	93.0	3.1
家族との関係	全体	744	18	668	58
		100.0	2.4	89.8	7.8
	男性	389	12	343	34
		100.0	3.1	88.2	8.7
	女性	355	6	325	24
		100.0	1.7	91.5	6.8
知的判断力	全体	744	26	673	45
		100.0	3.5	90.5	6.0
	男性	389	14	345	30
		100.0	3.6	88.7	7.7
	女性	355	12	328	15
		100.0	3.4	92.4	4.2
視力の状況	全体	744	70	663	11
		100.0	9.4	89.1	1.5
	男性	389	29	353	7
		100.0	7.5	90.7	1.8
	女性	355	41	310	4
		100.0	11.5	87.3	1.1
身体全般についての健康状態	全体	744	87	635	22
		100.0	11.7	85.3	3.0
	男性	389	46	329	14
		100.0	11.8	84.6	3.6
	女性	355	41	306	8
		100.0	11.5	86.2	2.3
		744	149	578	17

こころについての健康状態	全	100.0	20.0	77.7	2.3
	体				
	男	389	70	310	9
	性	100.0	18.0	79.7	2.3
	女	355	79	268	8
仕事や生活への意欲	性	100.0	22.3	75.5	2.3
	全	744	98	617	29
	体	100.0	13.2	82.9	3.9
	男	389	54	314	21
	性	100.0	13.9	80.7	5.4
夜間の睡眠状況	女	355	44	303	8
	性	100.0	12.4	85.4	2.3
	全	744	126	602	16
	体	100.0	16.9	80.9	2.2
	男	389	61	316	12
	性	100.0	15.7	81.2	3.1
	女	355	65	286	4
	性	100.0	18.3	80.6	1.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q9. 令和5年の奥能登地震と令和6年の能登半島地震の避難状況についてお答えください。

表 B9 避難状況について

	全体	1. 令和5年の奥能登地震の時のみ避難行動をとった	2. 令和6年の能登半島地震の時のみ避難行動をとった	3. 令和5年の奥能登地震と令和6年の能登半島地震の両方で避難行動をとった	4. 令和5年の奥能登地震と令和6年の能登半島地震のいずれでも避難行動をとらなかった
全	744	32	207	33	472
	100.0	4.3	27.8	4.4	63.4
男	389	16	106	21	246
	100.0	4.1	27.2	5.4	63.2
女	355	16	101	12	226
	100.0	4.5	28.5	3.4	63.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

C. 年齢別の集計結果

Q1. 能登半島地震発生当日から翌日にかけて、どのような場所で過ごされましたか。※複数の場所で過ごされた方は、もっとも滞在時間の長いものをお選びください。

表 C1 滞在場所について

	全体	1. 自宅 (被害なし)	2. 自宅 (被害あり)	3. 友人・知人・親戚宅に移動	4. 勤務先の建物内	5. 官公庁の建物 (例、市役所・町役場・県庁内)	6. 学校等	7. 病院、介護施設等	8. その他公共施設 (例、体育館・公民館・競技場・ラウンド)	9. 民間宿泊施設・ホテル	10. その他の民間施設 (ショッピングセンターや商業施設等)	11. 路上・野原・河原・公園等	12. 公共交通施設 (例、駅構内)	13. 車の中	14. 寺院、神社、教会等の宗教施設	15. その他
全体	744	502	149	24	9	8	6	2	9	1	4	0	0	13	3	14
	100.0	67.5	20.0	3.2	1.2	1.1	0.8	0.3	1.2	0.1	0.5	0.0	0.0	1.7	0.4	1.9
20代	68	48	7	4	0	1	1	0	0	0	2	0	0	2	2	1
	100.0	70.6	10.3	5.9	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	1.5
30代	140	99	24	5	1	2	1	0	2	0	0	0	0	4	0	2
	100.0	70.7	17.1	3.6	0.7	1.4	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4
40代	157	107	26	9	3	1	2	0	0	0	1	0	0	2	0	6
	100.0	68.2	16.6	5.7	1.9	0.6	1.3	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	1.3	0.0	3.8
50代	199	130	48	4	3	0	0	2	4	0	1	0	0	2	1	4
	100.0	65.3	24.1	2.0	1.5	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.0	0.5	2.0
60代・70代	180	118	44	2	2	4	2	0	3	1	0	0	0	3	0	1
	100.0	65.6	24.4	1.1	1.1	2.2	1.1	0.0	1.7	0.6	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q2. 能登半島地震後、あなたが最初に連絡を取ろうとした方はどなたですか。
次のうちから 1 つお選びください。実際に連絡がついたかどうかに関わらずお
選びください。※あなたからみた続柄でお答えください。

表 C2 震災後最初に連絡を取ろうとした方について

	全体	1. 配偶者	2. 両親	3. 子ども	4. 仕事の関係者	5. 友人・知人	6. 親戚	7. その他
全体	744	158	276	100	36	64	77	33
	100.0	21.2	37.1	13.4	4.8	8.6	10.3	4.4
20 代	68	9	46	0	1	6	3	3
	100.0	13.2	67.6	0.0	1.5	8.8	4.4	4.4
30 代	140	24	75	4	6	14	12	5
	100.0	17.1	53.6	2.9	4.3	10.0	8.6	3.6
40 代	157	35	65	14	9	14	15	5
	100.0	22.3	41.4	8.9	5.7	8.9	9.6	3.2
50 代	199	41	67	37	15	17	13	9
	100.0	20.6	33.7	18.6	7.5	8.5	6.5	4.5
60 代・ 70 代	180	49	23	45	5	13	34	11
	100.0	27.2	12.8	25.0	2.8	7.2	18.9	6.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q3. あなたは能登半島地震発生時、おもにどのように災害・避難情報を入手しま
したか。次のうち当てはまるものをすべてお選びください。

表 C3 情報の入手方法（複数回答）

	全体	1. テ レビ	2. ラ ジオ	3. 携 帯電 話や カー ナビ ゲー ショ ンの ワン セグ テレ ビ	4. 電 子メ ール やツ イッ ター (X) 等	5. イン ター ネッ トの WEB サイ ト	6. 新 聞	7. 役 所、 警 察、 消防 など の発 表	8. ク チコ ミ、 人付 けに 聞い て	9. 避 難 所な どの 掲 示	10. そ の 他 の 手 段	11. 災 害・避 難情報 は入手 しなか った/ できな かった
全体	744	542	77	81	137	298	79	73	61	33	5	52
	-	72.8	10.3	10.9	18.4	40.1	10.6	9.8	8.2	4.4	0.7	7.0

20代	68	35	2	9	19	22	5	5	9	6	0	9
	－	51.5	2.9	13.2	27.9	32.4	7.4	7.4	13.2	8.8	0.0	13.2
30代	140	99	10	11	31	62	8	12	6	7	1	11
	－	70.7	7.1	7.9	22.1	44.3	5.7	8.6	4.3	5.0	0.7	7.9
40代	157	113	16	21	24	61	11	11	18	8	1	12
	－	72.0	10.2	13.4	15.3	38.9	7.0	7.0	11.5	5.1	0.6	7.6
50代	199	155	29	16	31	74	21	18	12	6	3	10
	－	77.9	14.6	8.0	15.6	37.2	10.6	9.0	6.0	3.0	1.5	5.0
60代・ 70代	180	140	20	24	32	79	34	27	16	6	0	10
	－	77.8	11.1	13.3	17.8	43.9	18.9	15.0	8.9	3.3	0.0	5.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q4. あなたは能登半島地震が起きた時、どのようなことが不安でしたか。次のうちから主なものを3つまでお選びください。

表C4 地震が起きた時の不安（内容）について（複数回答）

	全体	1. 家族・ 親戚の安 否	2. 友人・ 知人の安 否	3. 自宅住 居の被害 状況	4. 自家 用車の被 害状況	5. 勤 務先の被 害状況	6. 通 信の断絶	7. 交 通のマヒ	8. 電 気・ガ ス・水 道の利 用がで きない こと	9. 原 子力発 電所の 状況	10. さ らなる 地震の 発生	11. 火 災の発 生	12. 食 料品等 の不足	13. 病 院や薬 の入手 ができ なくな ること	14. そ の他	15. 不 安に思 うこと はなかつ た
全体	744	259	143	220	18	58	61	69	173	57	412	48	104	14	26	50
	－	34.8	19.2	29.6	2.4	7.8	8.2	9.3	23.3	7.7	55.4	6.5	14.0	1.9	3.5	6.7
20代	68	19	15	19	1	7	4	4	15	4	24	2	9	3	0	12
	－	27.9	22.1	27.9	1.5	10.3	5.9	5.9	22.1	5.9	35.3	2.9	13.2	4.4	0.0	17.6
30代	140	46	28	36	3	11	11	10	31	6	84	6	19	4	3	12
	－	32.9	20.0	25.7	2.1	7.9	7.9	7.1	22.1	4.3	60.0	4.3	13.6	2.9	2.1	8.6
40代	157	54	27	43	4	16	12	17	42	13	88	8	22	2	6	8
	－	34.4	17.2	27.4	2.5	10.2	7.6	10.8	26.8	8.3	56.1	5.1	14.0	1.3	3.8	5.1
50代	199	73	38	70	5	12	15	19	41	11	109	9	32	4	8	13
	－	36.7	19.1	35.2	2.5	6.0	7.5	9.5	20.6	5.5	54.8	4.5	16.1	2.0	4.0	6.5

60代・70代	180	67	35	52	5	12	19	19	44	23	107	23	22	1	9	5
	－	37.2	19.4	28.9	2.8	6.7	10.6	10.6	24.4	12.8	59.4	12.8	12.2	0.6	5.0	2.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q5. 能登半島地震の時に一番頼りになった人は次のうちどれですか。次のうちから1つお選びください。

表 C5 一番頼りになった人

	全体	1. 内閣総理大臣・各省大臣	2. 都道府県知事	3. 市町村長	4. 国会議員	5. 市町村の職員	6. 教師	7. 警察	8. 消防	9. 自衛隊	10. 町内会、近隣の人々	11. 家族、親戚	12. 職場の人々	13. ボランティア、NPO	14. その他	15. 特にいない
全体	744	0	3	4	0	11	0	5	5	70	41	266	20	7	4	308
	100.0	0.0	0.4	0.5	0.0	1.5	0.0	0.7	0.7	9.4	5.5	35.8	2.7	0.9	0.5	41.4
20代	68	0	0	0	0	0	0	2	1	6	1	20	3	0	0	35
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	1.5	8.8	1.5	29.4	4.4	0.0	0.0	51.5
30代	140	0	0	0	0	4	0	0	1	20	4	50	0	2	0	59
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.7	14.3	2.9	35.7	0.0	1.4	0.0	42.1
40代	157	0	0	2	0	2	0	1	0	9	11	56	7	2	0	67
	100.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	0.6	0.0	5.7	7.0	35.7	4.5	1.3	0.0	42.7
50代	199	0	2	0	0	2	0	2	1	19	15	63	7	1	1	86
	100.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.5	9.5	7.5	31.7	3.5	0.5	0.5	43.2
60代・70代	180	0	1	2	0	3	0	0	2	16	10	77	3	2	3	61
	100.0	0.0	0.6	1.1	0.0	1.7	0.0	0.0	1.1	8.9	5.6	42.8	1.7	1.1	1.7	33.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q6. 避難所でどのような点が今後改善されるべきだと思いますか。次のうちあなたが思うものを2つまでお選びください。※避難所を利用したことが無い方も、利用するときを想定してお答えください。

表 C6 避難所の要改善点（複数回答）

	全体	1. 行政からの情報の不足	2. 携帯電話など通信・情報手段の不足	3. 安否情報の確保	4. 食べ物や飲料の不足	5. 電気の利用の不自	6. トイレなど衛生面	7. プライベートな空間の確保	8. 女性への配慮	9. 施設内の警備の強化	10. 子ども、高齢者、障害者の優先的なケア	11. 防寒対策または冷房などの空調	12. マスクなどの取	13. その他	14. 特にな
全体	744	54	65	46	173	51	346	160	85	24	78	149	17	8	76
	-	7.3	8.7	6.2	23.3	6.9	46.5	21.5	11.4	3.2	10.5	20.0	2.3	1.1	10.2
20代	68	5	6	11	13	3	20	16	8	3	1	12	2	0	15
	-	7.4	8.8	16.2	19.1	4.4	29.4	23.5	11.8	4.4	1.5	17.6	2.9	0.0	22.1
30代	140	6	5	4	37	11	59	32	16	10	20	25	1	1	20
	-	4.3	3.6	2.9	26.4	7.9	42.1	22.9	11.4	7.1	14.3	17.9	0.7	0.7	14.3
40代	157	11	12	10	33	9	71	45	18	5	11	33	6	1	13
	-	7.0	7.6	6.4	21.0	5.7	45.2	28.7	11.5	3.2	7.0	21.0	3.8	0.6	8.3
50代	199	14	17	7	46	17	106	37	25	3	20	40	3	2	20
	-	7.0	8.5	3.5	23.1	8.5	53.3	18.6	12.6	1.5	10.1	20.1	1.5	1.0	10.1
60代・70代	180	18	25	14	44	11	90	30	18	3	26	39	5	4	8
	-	10.0	13.9	7.8	24.4	6.1	50.0	16.7	10.0	1.7	14.4	21.7	2.8	2.2	4.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q7. あなたは現在どのような防災対策を行っていますか。以下の項目についてそれぞれひとつずつお選びください。

表 C7 対策の状況について

			1. 能登半島地震 前からしている	2. 能登半島地震を 受けてしはじめた	3. して いない
懐中電灯など携帯照明器具の準備	全体	744	417	93	234
		100.0	56.0	12.5	31.5
	20代	68	17	17	34
		100.0	25.0	25.0	50.0
	30代	140	59	20	61
		100.0	42.1	14.3	43.6
	40代	157	81	23	53
		100.0	51.6	14.6	33.8
	50代	199	118	19	62
		100.0	59.3	9.5	31.2
	60代・ 70代	180	142	14	24
		100.0	78.9	7.8	13.3
携帯ラジオなど情報端末の準備	全体	744	231	69	444
		100.0	31.0	9.3	59.7
	20代	68	10	16	42
		100.0	14.7	23.5	61.8
	30代	140	23	15	102
		100.0	16.4	10.7	72.9
	40代	157	53	9	95
		100.0	33.8	5.7	60.5
	50代	199	65	15	119
		100.0	32.7	7.5	59.8
	60代・ 70代	180	80	14	86
		100.0	44.4	7.8	47.8
非常用持ち出し袋の準備	全体	744	226	123	395
		100.0	30.4	16.5	53.1
	20代	68	16	17	35
		100.0	23.5	25.0	51.5
	30代	140	44	24	72
		100.0	31.4	17.1	51.4

	40 代	157	53	29	75
		100.0	33.8	18.5	47.8
	50 代	199	50	30	119
		100.0	25.1	15.1	59.8
	60 代・ 70 代	180	63	23	94
		100.0	35.0	12.8	52.2
食料品・飲料水の準備	全体	744	289	165	290
		100.0	38.8	22.2	39.0
	20 代	68	17	24	27
		100.0	25.0	35.3	39.7
	30 代	140	49	35	56
		100.0	35.0	25.0	40.0
	40 代	157	59	35	63
		100.0	37.6	22.3	40.1
	50 代	199	81	35	83
		100.0	40.7	17.6	41.7
	60 代・ 70 代	180	83	36	61
		100.0	46.1	20.0	33.9
家具等室内の転倒防止措置	全体	744	198	93	453
		100.0	26.6	12.5	60.9
	20 代	68	10	19	39
		100.0	14.7	27.9	57.4
	30 代	140	37	14	89
		100.0	26.4	10.0	63.6
	40 代	157	38	17	102
		100.0	24.2	10.8	65.0
	50 代	199	55	20	124
		100.0	27.6	10.1	62.3
	60 代・ 70 代	180	58	23	99
		100.0	32.2	12.8	55.0
地震保険への加入	全体	744	292	46	406
		100.0	39.2	6.2	54.6
	20 代	68	7	12	49
		100.0	10.3	17.6	72.1
	30 代	140	51	12	77

		100.0	36.4	8.6	55.0
	40代	157	56	7	94
		100.0	35.7	4.5	59.9
	50代	199	87	7	105
		100.0	43.7	3.5	52.8
	60代・70代	180	91	8	81
		100.0	50.6	4.4	45.0
自宅の耐震補強	全体	744	157	41	546
		100.0	21.1	5.5	73.4
	20代	68	5	10	53
		100.0	7.4	14.7	77.9
	30代	140	39	8	93
		100.0	27.9	5.7	66.4
	40代	157	36	10	111
		100.0	22.9	6.4	70.7
	50代	199	35	6	158
		100.0	17.6	3.0	79.4
	60代・70代	180	42	7	131
		100.0	23.3	3.9	72.8
家族で地震対策について話し合うこと	全体	744	200	196	348
		100.0	26.9	26.3	46.8
	20代	68	10	26	32
		100.0	14.7	38.2	47.1
	30代	140	34	36	70
		100.0	24.3	25.7	50.0
	40代	157	50	42	65
		100.0	31.8	26.8	41.4
	50代	199	52	44	103
		100.0	26.1	22.1	51.8
	60代・70代	180	54	48	78
		100.0	30.0	26.7	43.3
災害時の連絡手段を決めておくこと	全体	744	164	134	446
		100.0	22.0	18.0	59.9
	20代	68	11	19	38
		100.0	16.2	27.9	55.9

	30 代	140	24	24	92
		100.0	17.1	17.1	65.7
	40 代	157	39	29	89
		100.0	24.8	18.5	56.7
	50 代	199	38	34	127
		100.0	19.1	17.1	63.8
地震発生後の避難場所を決めておくこと	60 代・70 代	180	52	28	100
		100.0	28.9	15.6	55.6
	全体	744	213	123	408
		100.0	28.6	16.5	54.8
	20 代	68	9	20	39
		100.0	13.2	29.4	57.4
	30 代	140	33	23	84
		100.0	23.6	16.4	60.0
	40 代	157	47	26	84
		100.0	29.9	16.6	53.5
	50 代	199	55	28	116
		100.0	27.6	14.1	58.3
	60 代・70 代	180	69	26	85
		100.0	38.3	14.4	47.2
その他	全体	744	20	21	516
		－	2.7	2.8	69.4
	20 代	68	5	3	46
		－	7.4	4.4	67.6
	30 代	140	3	4	97
		－	2.1	2.9	69.3
	40 代	157	2	3	107
		－	1.3	1.9	68.2
	50 代	199	1	3	150
		－	0.5	1.5	75.4
	60 代・70 代	180	9	8	116
		－	5.0	4.4	64.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q8. 能登半島地震前と比べて以下の項目についてお選びください。

表 C8 地震前の状況について

			1. 悪くなった	2. 変わらない	3. 良くなった
収入や経済生活	全体	744	99	619	26
		100.0	13.3	83.2	3.5
	20代	68	6	55	7
		100.0	8.8	80.9	10.3
	30代	140	6	126	8
		100.0	4.3	90.0	5.7
	40代	157	24	125	8
		100.0	15.3	79.6	5.1
	50代	199	37	160	2
		100.0	18.6	80.4	1.0
	60代・70代	180	26	153	1
		100.0	14.4	85.0	0.6
お住まいの住環境	全体	744	99	626	19
		100.0	13.3	84.1	2.6
	20代	68	5	58	5
		100.0	7.4	85.3	7.4
	30代	140	11	125	4
		100.0	7.9	89.3	2.9
	40代	157	19	132	6
		100.0	12.1	84.1	3.8
	50代	199	33	165	1
		100.0	16.6	82.9	0.5
	60代・70代	180	31	146	3
		100.0	17.2	81.1	1.7
地域住民とのコミュニケーション状況	全体	744	40	677	27
		100.0	5.4	91.0	3.6
	20代	68	2	63	3
		100.0	2.9	92.6	4.4
	30代	140	5	130	5
		100.0	3.6	92.9	3.6
	40代	157	10	141	6
		100.0	6.4	89.8	3.8

	50 代	199	11	182	6
		100.0	5.5	91.5	3.0
	60 代・ 70 代	180	12	161	7
		100.0	6.7	89.4	3.9
家族との関係	全体	744	18	668	58
		100.0	2.4	89.8	7.8
	20 代	68	3	57	8
		100.0	4.4	83.8	11.8
	30 代	140	4	126	10
		100.0	2.9	90.0	7.1
	40 代	157	4	141	12
		100.0	2.5	89.8	7.6
	50 代	199	6	179	14
		100.0	3.0	89.9	7.0
	60 代・ 70 代	180	1	165	14
		100.0	0.6	91.7	7.8
知的判断力	全体	744	26	673	45
		100.0	3.5	90.5	6.0
	20 代	68	4	55	9
		100.0	5.9	80.9	13.2
	30 代	140	3	128	9
		100.0	2.1	91.4	6.4
	40 代	157	7	140	10
		100.0	4.5	89.2	6.4
	50 代	199	7	182	10
		100.0	3.5	91.5	5.0
	60 代・ 70 代	180	5	168	7
		100.0	2.8	93.3	3.9
視力の状況	全体	744	70	663	11
		100.0	9.4	89.1	1.5
	20 代	68	6	60	2
		100.0	8.8	88.2	2.9
	30 代	140	8	129	3
		100.0	5.7	92.1	2.1
	40 代	157	18	135	4

		100.0	11.5	86.0	2.5
	50代	199	20	177	2
		100.0	10.1	88.9	1.0
	60代・70代	180	18	162	0
		100.0	10.0	90.0	0.0
身体全般についての健康状態	全体	744	87	635	22
		100.0	11.7	85.3	3.0
	20代	68	7	55	6
		100.0	10.3	80.9	8.8
	30代	140	8	124	8
		100.0	5.7	88.6	5.7
	40代	157	22	130	5
		100.0	14.0	82.8	3.2
	50代	199	27	171	1
		100.0	13.6	85.9	0.5
	60代・70代	180	23	155	2
		100.0	12.8	86.1	1.1
こころについての健康状態	全体	744	149	578	17
		100.0	20.0	77.7	2.3
	20代	68	10	54	4
		100.0	14.7	79.4	5.9
	30代	140	23	111	6
		100.0	16.4	79.3	4.3
	40代	157	34	120	3
		100.0	21.7	76.4	1.9
	50代	199	45	151	3
		100.0	22.6	75.9	1.5
	60代・70代	180	37	142	1
		100.0	20.6	78.9	0.6
仕事や生活への意欲	全体	744	98	617	29
		100.0	13.2	82.9	3.9
	20代	68	7	51	10
		100.0	10.3	75.0	14.7
	30代	140	20	113	7
		100.0	14.3	80.7	5.0

	40 代	157	18	133	6
		100.0	11.5	84.7	3.8
	50 代	199	30	164	5
		100.0	15.1	82.4	2.5
	60 代・ 70 代	180	23	156	1
		100.0	12.8	86.7	0.6
	全体	744	126	602	16
		100.0	16.9	80.9	2.2
	20 代	68	11	51	6
		100.0	16.2	75.0	8.8
夜間の睡眠状況	30 代	140	17	117	6
		100.0	12.1	83.6	4.3
	40 代	157	29	126	2
		100.0	18.5	80.3	1.3
	50 代	199	34	164	1
		100.0	17.1	82.4	0.5
	60 代・ 70 代	180	35	144	1
		100.0	19.4	80.0	0.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q9. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震の避難状況についてお答えください。

表 C9 避難状況について

	全体	1. 令和 5 年の 奥能登地震の 時のみ避難行 動をとった	2. 令和 6 年の 能登半島地震 の時のみ避難 行動をとった	3. 令和 5 年の奥能登 地震と令和 6 年の能 登半島地震の両方で 避難行動をとった	4. 令和 5 年の奥能登地 震と令和 6 年の能登半 島地震のいずれでも避 難行動をとらなかった
全体	744	32	207	33	472
	100.0	4.3	27.8	4.4	63.4
20 代	68	7	14	4	43
	100.0	10.3	20.6	5.9	63.2
30 代	140	3	51	8	78
	100.0	2.1	36.4	5.7	55.7
40 代	157	10	39	13	95
	100.0	6.4	24.8	8.3	60.5
50 代	199	5	50	5	139

	100.0	2.5	25.1	2.5	69.8
60代・ 70代	180	7	53	3	117
	100.0	3.9	29.4	1.7	65.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

D. 能登半島地震に関するアンケート調査票

この調査の目的は、石川県在住のモニター会員を対象に奥能登地震及び能登半島地震後の状況について、学術的な調査を行うことです。調査結果は東北大学で統計的に処理を行い、個人を特定できないように集計します。質問内容等によっては、無理にご回答をせずに、調査を始めた後でも中断しても構いません（途中で回答をやめた場合はポイントはもらえません）。結果だけが統計的に集計され、どなたがお答えになったかは一切調査者にはわからないようにされています。以上、この調査の趣旨をご理解の上、ご回答いただける場合には、調査にお進みください。ここで、奥能登地震は令和 5 年 5 月 5 日に発生した地震を指しており、能登半島地震は令和 6 年 1 月 1 日に発生した地震を指しています。

Q1. あなたは令和 6 年 1 月 1 日の能登半島地震の発災時にどちらにお住まいでしたか。

※プライバシー保護の観点から、番地以下は記入しないようにしてください。

市町村名：

Q2. 能登半島地震発生当日から翌日にかけて、どのような場所で過ごされましたか。※複数の場所で過ごされた方は、もっとも滞在時間の長いものをお選びください。

1. 自宅（被害なし）
2. 自宅（被害あり）
3. 友人・知人・親戚宅に移動
4. 勤務先の建物内
5. 官公庁の建物（例、市役所・町役場・県庁）内
6. 学校等
7. 病院、介護施設等
8. その他公共施設（例、体育館・公民館・競技場・ラウンド）
9. 民間宿泊施設・ホテル
10. その他の民間施設（ショッピングセンターや商業施設等）
11. 路上・野原・河原・公園等
12. 公共交通施設（例、駅構内）
13. 車の中
14. 寺院、神社、教会等の宗教施設
15. その他

Q3. 能登半島地震後、あなたが最初に連絡を取ろうとした方はどなたですか。

次のうちから 1 つお選びください。実際に連絡がついたかどうかに関わらずお選びください。※あなたからみた続柄でお答えください。

1. 配偶者
2. 両親

3. 子ども
4. 仕事の関係者
5. 友人・知人
6. 親戚
7. その他

Q4. あなたは能登半島地震発生時、おもにどのように災害・避難情報を入手しましたか。次のうち当てはまるものをすべてお選びください。

1. テレビ
2. ラジオ
3. 携帯電話やカーナビゲーションのワンセグテレビ
4. 電子メールやツイッター（X）等
5. インターネットのWEB サイト
6. 新聞
7. 役所、警察、消防などの発表
8. クチコミ、人付けに聞いて
9. 避難所などの掲示
10. その他の手段
11. 災害・避難情報は入手しなかった/できなかった

Q5. あなたは能登半島地震が起きた時、どのようなことが不安でしたか。次のうちから主なものを3つまでお選びください。

1. 家族・親戚の安否
2. 友人・知人の安否
3. 自宅住居の被害状況
4. 自家用車の被害状況
5. 勤務先の被害状況
6. 通信の断絶
7. 交通のマヒ
8. 電気・ガス・水道の利用ができないこと
9. 原子力発電所の状況
10. さらなる地震の発生
11. 火災の発生
12. 食料品等の不足
13. 病院や薬の入手ができなくなる

14. その他
15. 不安に思うことはなかった

Q6. 能登半島地震の時に一番頼りになった人は次のうちどれですか。次のうちから 1 つお選びください。

1. 内閣総理大臣・各省大臣
2. 都道府県知事
3. 市町村長
4. 国会議員
5. 市町村の職員
6. 教師
7. 警察
8. 消防
9. 自衛隊
10. 町内会、近隣の人々
11. 家族、親戚
12. 職場の人々
13. ボランティア、NPO
14. その他
15. 特にいない

Q7. 避難所でどのような点が今後改善されるべきだと思いますか。次のうちあなたが思うものを 2 つまでお選びください。※避難所を利用したことが無い方も、利用するときを想定してお答えください。

1. 行政からの情報の不足
2. 携帯電話など通信・情報手段の不足
3. 安否情報の確保
4. 食べ物や飲料の不足
5. 電気の利用の不自由
6. トイレなど衛生面
7. プライベートな空間の確保
8. 女性への配慮
9. 施設内の警備の強化
10. 子ども、高齢者、障害者の優先的なケア
11. 防寒対策または冷房などの空調

12. マスコミの取材などの集中
13. その他
14. 特にない

Q8. あなたは現在どのような防災対策を行っていますか。以下の項目についてそれぞれひとつずつお選びください。

	1. 能登半島地震前からしている	2. 能登半島地震を受けてしはじめた	3. していない
1. 懐中電灯など携帯照明器具の準備			
2. 携帯ラジオなど情報端末の準備			
3. 非常用持ち出し袋の準備			
4. 食料品・飲料水の準備			
5. 家具等室内の転倒防止措置			
6. 地震保険への加入			
7. 自宅の耐震補強			
8. 家族で地震対策について話し合うこと			
9. 災害時の連絡手段を決めておくこと			
10. 地震発生後の避難場所を決めておくこと			
11. その他			

Q9. 能登半島地震前と比べて以下の項目についてお選びください。

	1. 悪くなった	2. 変わらない	3. 良くなった
1. 収入や経済生活			
2. お住まいの住環境			
3. 地域住民のコミュニケーション状況			
4. 家族との関係			
5. 知的判断力			
6. 視力の状況			
7. 身体全般についての健康状態			
8. こころについての健康状態			
9. 仕事や生活への意欲			
10. 夜間の睡眠状況			

Q10. 令和5年の奥能登地震と令和6年の能登半島地震の避難状況についてお答えください。

1. 令和5年の奥能登地震の時のみ避難行動をとった

2. 令和 6 年の能登半島地震の時のみ避難行動をとった
3. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震の両方で避難行動をとった
4. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震のいずれでも避難行動をとらなかった

能登半島地震に関するアンケート調査
(基本集計結果)

陳 鳳明[†], 吉田 浩[‡]

概要

令和 5 年 5 月 5 日 14 時 42 分、石川県能登半島沖(震源の深さ約 12km)を震源とするマグニチュード 6.5 の地震(以下、「奥能登地震」と称する)が発生した。その後、令和 6 年 1 月 1 日 16 時 10 分には石川県能登地方でマグニチュード 7.6 の地震(以下、「能登半島地震」と称する)が発生した。本調査の目的は、令和 5 年 11 月 9 日から 12 日にかけて実施された「奥能登地震に関するアンケート調査」の回答者を対象に、令和 6 年能登半島地震直後の状況等について学術的な調査を行うことである。

今回の調査では、1,030 名のモニター会員のうち、744 名より回答を得た。本調査は、東北大学大学院経済学研究科の研究倫理審査委員会の承認を得て、令和 6 年 12 月 13 日から 23 日にかけて実施された。

調査結果によれば、震災後最初に連絡を取ろうとした相手について、「両親」と回答した方が 37.1%で最も多く、続いて「配偶者」が 21.2%である。また、情報の入手方法(複数回答可)については、「テレビ」と回答した方の割合は 72.8%であり、インターネットのWEBサイトから情報を入手するという回答は 4 割に達している。

本調査は特別研究促進費(課題番号:23K17482)及び東北大学社会にインパクトある研究の助成を受けたものである。

[†] 東北大学大学院経済学研究科 特任助教 fengming.chen.d2@tohoku.ac.jp

[‡] 東北大学大学院経済学研究科 教授 hiroshi.yoshida.e2@tohoku.ac.jp

能登半島地震に関するアンケート調査

目次

- A. 全体の集計結果
- B. 男女別の集計結果
- C. 年齢別の集計結果
- D. 能登半島地震に関するアンケート調査票

A. 全体の集計結果

Q1. 能登半島地震発生当日から翌日にかけて、どのような場所で過ごされましたか。※複数の場所で過ごされた方は、もっとも滞在時間の長いものをお選びください。

表 A1 滞在場所について

	N	%
全体	744	100.0
1. 自宅（被害なし）	502	67.5
2. 自宅（被害あり）	149	20.0
3. 友人・知人・親戚宅に移動	24	3.2
4. 勤務先の建物内	9	1.2
5. 官公庁の建物（例、市役所・町役場・県庁）内	8	1.1
6. 学校等	6	0.8
7. 病院、介護施設等	2	0.3
8. その他公共施設（例、体育館・公民館・競技場・ラウンド）	9	1.2
9. 民間宿泊施設・ホテル	1	0.1
10. その他の民間施設（ショッピングセンターや商業施設等）	4	0.5
11. 路上・野原・河原・公園等	0	0.0
12. 公共交通施設（例、駅構内）	0	0.0
13. 車の中	13	1.7
14. 寺院、神社、教会等の宗教施設	3	0.4
15. その他	14	1.9

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（%）を表す。

Q2. 能登半島地震後、あなたが最初に連絡を取ろうとした方はどなたですか。次のうちから1つお選びください。実際に連絡がついたかどうかに関わらずお選びください。※あなたからみた続柄でお答えください。

表 A2 震災後最初に連絡を取ろうとした方について

	N	%
全体	744	100.0
1. 配偶者	158	21.2
2. 両親	276	37.1
3. 子ども	100	13.4
4. 仕事の関係者	36	4.8
5. 友人・知人	64	8.6
6. 親戚	77	10.3
7. その他	33	4.4

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（％）を表す。

Q3. あなたは能登半島地震発生時、おもにどのように災害・避難情報を入手しましたか。次のうち当てはまるものをすべてお選びください。

表 A3 情報の入手方法（複数回答）

	N	%
全体	744	－
1. テレビ	542	72.8
2. ラジオ	77	10.3
3. 携帯電話やカーナビゲーションのワンセグテレビ	81	10.9
4. 電子メールやツイッター（X）等	137	18.4
5. インターネットのWEBサイト	298	40.1
6. 新聞	79	10.6
7. 役所、警察、消防などの発表	73	9.8
8. クチコミ、人付けに聞いて	61	8.2
9. 避難所などの掲示	33	4.4
10. その他の手段	5	0.7
11. 災害・避難情報は入手しなかった/できなかった	52	7.0

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（％）を表す。

Q4. あなたは能登半島地震が起きた時、どのようなことが不安でしたか。次のうちから主なものを3つまでお選びください。

表 A4 地震が起きた時の不安（内容）について（複数回答）

	N	%
全体	744	－
1. 家族・親戚の安否	259	34.8
2. 友人・知人の安否	143	19.2
3. 自宅住居の被害状況	220	29.6
4. 自家用車の被害状況	18	2.4
5. 勤務先の被害状況	58	7.8
6. 通信の断絶	61	8.2
7. 交通のマヒ	69	9.3
8. 電気・ガス・水道の利用ができないこと	173	23.3
9. 原子力発電所の状況	57	7.7
10. さらなる地震の発生	412	55.4

11. 火災の発生	48	6.5
12. 食料品等の不足	104	14.0
13. 病院や薬の入手ができなくなる事	14	1.9
14. その他	26	3.5
15. 不安に思うことはなかった	50	6.7

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（%）を表す。

Q5. 能登半島地震の時に一番頼りになった人は次のうちどれですか。次のうちから1つお選びください。

表 A5 一番頼りになった人

	N	%
全体	744	100.0
1. 内閣総理大臣・各省大臣	0	0.0
2. 都道府県知事	3	0.4
3. 市町村長	4	0.5
4. 国会議員	0	0.0
5. 市町村の職員	11	1.5
6. 教師	0	0.0
7. 警察	5	0.7
8. 消防	5	0.7
9. 自衛隊	70	9.4
10. 町内会、近隣の人々	41	5.5
11. 家族、親戚	266	35.8
12. 職場の人々	20	2.7
13. ボランティア、NPO	7	0.9
14. その他	4	0.5
15. 特にいない	308	41.4

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（%）を表す。

Q6. 避難所でどのような点が今後改善されるべきだと思いますか。次のうちあなたが思うものを 2 つまでお選びください。※避難所を利用したことが無い方も、利用するときを想定してお答えください。

表 A6 避難所の要改善点（複数回答）

	N	%
全体	744	-
1. 行政からの情報の不足	54	7.3
2. 携帯電話など通信・情報手段の不足	65	8.7
3. 安否情報の確保	46	6.2
4. 食べ物や飲料の不足	173	23.3
5. 電気の利用の不自由	51	6.9
6. トイレなど衛生面	346	46.5
7. プライベートな空間の確保	160	21.5
8. 女性への配慮	85	11.4
9. 施設内の警備の強化	24	3.2
10. 子ども、高齢者、障害者の優先的なケア	78	10.5
11. 防寒対策または冷房などの空調	149	20.0
12. マスコミの取材などの集中	17	2.3
13. その他	8	1.1
14. 特にない	76	10.2

注：表の 2 列目は回答者数（人）、3 列目は全体（744 件）に対する比率（%）を表す。

Q7. あなたは現在どのような防災対策を行っていますか。以下の項目についてそれぞれひとつずつお選びください。

表 A7 防災対策の状況について

	全体	1. 能登半島地震 前からしている	2. 能登半島地震を 受けてしはじめた	3. して いない
懐中電灯など携帯照明器具の 準備	744 100.0	417 56.0	93 12.5	234 31.5
携帯ラジオなど情報端末の準備	744 100.0	231 31.0	69 9.3	444 59.7
非常用持ち出し袋の準備	744 100.0	226 30.4	123 16.5	395 53.1
食料品・飲料水の準備	744 100.0	289 38.8	165 22.2	290 39.0

家具等室内の転倒防止措置	744	198	93	453
	100.0	26.6	12.5	60.9
地震保険への加入	744	292	46	406
	100.0	39.2	6.2	54.6
自宅の耐震補強	744	157	41	546
	100.0	21.1	5.5	73.4
家族で地震対策について話し合うこと	744	200	196	348
	100.0	26.9	26.3	46.8
災害時の連絡手段を決めておくこと	744	164	134	446
	100.0	22.0	18.0	59.9
地震発生後の避難場所を決めておくこと	744	213	123	408
	100.0	28.6	16.5	54.8
その他	557	20	21	516
	-	2.7	2.8	69.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体（744 件）に対する比率（％）を表す。「その他」についての無回答は 187 件である。

Q8. 能登半島地震前と比べて以下の項目についてお選びください。

表 A8 地震前の状況について

	全体	1. 悪くなった	2. 変わらない	3. 良くなった
収入や経済生活	744	99	619	26
	100.0	13.3	83.2	3.5
お住まいの住環境	744	99	626	19
	100.0	13.3	84.1	2.6
地域住民とのコミュニケーション状況	744	40	677	27
	100.0	5.4	91.0	3.6
家族との関係	744	18	668	58
	100.0	2.4	89.8	7.8
知的判断力	744	26	673	45
	100.0	3.5	90.5	6.0
視力の状況	744	70	663	11
	100.0	9.4	89.1	1.5
身体全般についての健康状態	744	87	635	22
	100.0	11.7	85.3	3.0

こころについての健康状態	744	149	578	17
	100.0	20.0	77.7	2.3
仕事や生活への意欲	744	98	617	29
	100.0	13.2	82.9	3.9
夜間の睡眠状況	744	126	602	16
	100.0	16.9	80.9	2.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体(744 件)に対する比率（％）を表す。

Q9. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震の避難状況についてお答えください。

表 A9 避難状況について

	N	%
全体	744	100.0
1. 令和 5 年の奥能登地震の時のみ避難行動をとった	32	4.3
2. 令和 6 年の能登半島地震の時のみ避難行動をとった	207	27.8
3. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震の両方で避難行動をとった	33	4.4
4. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震のいずれでも避難行動をとらなかった	472	63.4

注：表の 2 列目は回答者数（人）、3 列目は全体（744 件）に対する比率（％）を表す。

表 A10 参加者の年齢分布

	N	%
全体	744	100.0
1. 20 才～24 才	20	2.7
2. 25 才～29 才	48	6.5
3. 30 才～34 才	61	8.2
4. 35 才～39 才	79	10.6
5. 40 才～44 才	69	9.3
6. 45 才～49 才	88	11.8
7. 50 才～54 才	102	13.7
8. 55 才～59 才	97	13.0
9. 60 才以上	180	24.2

注：表の 2 列目は回答者数（人）、3 列目は全体（744 件）に対する比率（％）を表す。

表 A11 男女比

	N	%
全体	744	100.0
1. 男性	389	52.3
2. 女性	355	47.7

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（%）を表す。

表 A12 世帯年収について

	N	%
全体	744	100.0
1. 200 万未満	54	7.3
2. 200～400 万未満	124	16.7
3. 400～600 万未満	160	21.5
4. 600～800 万未満	112	15.1
5. 800～1000 万未満	75	10.1
6. 1000～1200 万未満	33	4.4
7. 1200～1500 万未満	11	1.5
8. 1500～2000 万未満	4	0.5
9. 2000 万円以上	1	0.1
10. わからない	90	12.1
11. 無回答	80	10.8

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（%）を表す。

表 A13 個人年収について

	N	%
全体	744	100.0
1. 200 万未満	218	29.3
2. 200～400 万未満	184	24.7
3. 400～600 万未満	143	19.2
4. 600～800 万未満	35	4.7
5. 800～1000 万未満	27	3.6
6. 1000～1200 万未満	5	0.7
7. 1200～1500 万未満	1	0.1
8. 1500～2000 万未満	2	0.3
9. 2000 万円以上	0	0.0

10. わからない	52	7.0
11. 無回答	77	10.3

注：表の2列目は回答者数（人）、3列目は全体（744件）に対する比率（％）を表す。

B. 男女別の集計結果

Q1. 能登半島地震発生当日から翌日にかけて、どのような場所で過ごされましたか。※複数の場所で過ごされた方は、もっとも滞在時間の長いものをお選びください。

表 B1 滞在場所について

	全体	1. 自宅 (被害なし)	2. 自宅 (被害あり)	3. 友人・知人・ 親戚宅に移動	4. 勤務先 の建物内	5. 官公庁 の建物 (例、市役所・ 町役場・県庁内)	6. 学校等	7. 病院、 介護施設等	8. その他公共 施設 (例、体育館・公 民館・競技場・ラ ウンド)	9. 民間宿 泊施設・ ホテル	10. その他 の民間施設 (ショッピングセ ンターや商業施 設等)	11. 路上・ 野原・河原・ 公園等	12. 公共 交通施設 (例、駅構 内)	13. 車の中	14. 寺院、 神社、 教会等の 宗教施設	15. その他
全体	744	502	149	24	9	8	6	2	9	1	4	0	0	13	3	14
	100.0	67.5	20.0	3.2	1.2	1.1	0.8	0.3	1.2	0.1	0.5	0.0	0.0	1.7	0.4	1.9
男性	389	252	85	9	5	6	3	1	5	1	2	0	0	8	3	9
	100.0	64.8	21.9	2.3	1.3	1.5	0.8	0.3	1.3	0.3	0.5	0.0	0.0	2.1	0.8	2.3
女性	355	250	64	15	4	2	3	1	4	0	2	0	0	5	0	5
	100.0	70.4	18.0	4.2	1.1	0.6	0.8	0.3	1.1	0.0	0.6	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q2. 能登半島地震後、あなたが最初に連絡を取ろうとした方はどなたですか。次のうちから 1 つお選びください。実際に連絡がついたかどうかに関わらずお選びください。

表 B2 震災後最初に連絡を取ろうとした方について

	全体	1. 配偶者	2. 両親	3. 子ども	4. 仕事の関係者	5. 友人・知人	6. 親戚	7. その他
全体	744	158	276	100	36	64	77	33
	100.0	21.2	37.1	13.4	4.8	8.6	10.3	4.4
男性	389	103	133	34	24	32	47	16
	100.0	26.5	34.2	8.7	6.2	8.2	12.1	4.1
女性	355	55	143	66	12	32	30	17
	100.0	15.5	40.3	18.6	3.4	9.0	8.5	4.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q3. あなたは能登半島地震発生時、おもにどのように災害・避難情報を入手しましたか。次のうち当てはまるものをすべてお選びください。

表 B3 情報の入手方法（複数回答）

	全体	1. テレビ	2. ラジオ	3. 携帯電話やカーナビゲーションのワンセグテレビ	4. 電子メールやツイッター（X）等	5. インターネットのWEBサイト	6. 新聞	7. 役所、警察、消防などの発表	8. クチコミ、人付けに聞いて	9. 避難所などの掲示	10. その他の手段	11. 災害・避難情報は入手しなかった/できなかった
全体	744	542	77	81	137	298	79	73	61	33	5	52
	-	72.8	10.3	10.9	18.4	40.1	10.6	9.8	8.2	4.4	0.7	7.0
男性	389	269	51	41	54	176	42	37	27	24	1	29
	-	69.2	13.1	10.5	13.9	45.2	10.8	9.5	6.9	6.2	0.3	7.5
女性	355	273	26	40	83	122	37	36	34	9	4	23
	-	76.9	7.3	11.3	23.4	34.4	10.4	10.1	9.6	2.5	1.1	6.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q4. あなたは能登半島地震が起きた時、どのようなことが不安でしたか。次のうちから主なものを3つまでお選びください。

表 B4 地震が起きた時の不安（内容）について（複数回答）

	全体	1. 家族・親戚の安否	2. 友人・知人の安否	3. 自宅住居の被害状況	4. 自家用車の被害状況	5. 勤務先の被害状況	6. 通信の断絶	7. 交通のマヒ	8. 電気・ガス・水道の利用ができないこと	9. 原子力発電所の状況	10. さらなる地震の発生	11. 火災の発生	12. 食料品等の不足	13. 病院や薬の入手ができなくなる	14. その他	15. 不安に思うことはなかった
全体	744	259	143	220	18	58	61	69	173	57	412	48	104	14	26	50
	-	34.8	19.2	29.6	2.4	7.8	8.2	9.3	23.3	7.7	55.4	6.5	14.0	1.9	3.5	6.7

男	389	119	63	119	8	36	32	42	86	22	204	26	45	6	13	30
性	－	30.6	16.2	30.6	2.1	9.3	8.2	10.8	22.1	5.7	52.4	6.7	11.6	1.5	3.3	7.7
女	355	140	80	101	10	22	29	27	87	35	208	22	59	8	13	20
性	－	39.4	22.5	28.5	2.8	6.2	8.2	7.6	24.5	9.9	58.6	6.2	16.6	2.3	3.7	5.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q5. 能登半島地震の時に一番頼りになった人は次のうちどれですか。次のうちから1つお選びください。

表 B5 一番頼りになった人

	全体	1. 内閣総理大臣・各省大臣	2. 都道府県知事	3. 市町村長	4. 国會議員	5. 市町村の職員	6. 教師	7. 警察	8. 消防	9. 自衛隊	10. 町内会、近隣の人々	11. 家族、親戚	12. 職場の人々	13. ボランティア、NPO	14. その他	15. 特にいない
全	744	0	3	4	0	11	0	5	5	70	41	266	20	7	4	308
体	100.0	0.0	0.4	0.5	0.0	1.5	0.0	0.7	0.7	9.4	5.5	35.8	2.7	0.9	0.5	41.4
男	389	0	1	4	0	5	0	5	4	38	19	100	18	4	2	189
性	100.0	0.0	0.3	1.0	0.0	1.3	0.0	1.3	1.0	9.8	4.9	25.7	4.6	1.0	0.5	48.6
女	355	0	2	0	0	6	0	0	1	32	22	166	2	3	2	119
性	100.0	0.0	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.3	9.0	6.2	46.8	0.6	0.8	0.6	33.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q6. 避難所でどのような点が今後改善されるべきだと思いますか。次のうちあなたが思うものを2つまでお選びください。※避難所を利用したことが無い方も、利用するときを想定してお答えください。

表 B6 避難所の要改善点（複数回答）

	全 体	1. 行 政か らの 情報 の不 足	2. 携 帯 電話な ど通 信・情 報手段 の不足	3. 安 否 情報 の確 保	4. 食 べ物 や飲 料の 不足	5. 電 気の 利用 の不 自由	6. ト イレ など 衛生 面	7. プ ライ ベ ートな 空間 の確 保	8. 女 性へ の配 慮	9. 施 設内 の警 備の 強化	10. 子 ども、 高齢 者、障 碍者の 優先的 なケア	11. 防 寒 対策 または 冷房な どの空 調	12. マ ス コミ の取 材な どの集 中	13. そ の 他	14. 特 に ない
全 体	744	54	65	46	173	51	346	160	85	24	78	149	17	8	76
	-	7.3	8.7	6.2	23.3	6.9	46.5	21.5	11.4	3.2	10.5	20.0	2.3	1.1	10.2
男 性	389	31	38	31	98	32	172	67	27	12	37	67	10	4	47
	-	8.0	9.8	8.0	25.2	8.2	44.2	17.2	6.9	3.1	9.5	17.2	2.6	1.0	12.1
女 性	355	23	27	15	75	19	174	93	58	12	41	82	7	4	29
	-	6.5	7.6	4.2	21.1	5.4	49.0	26.2	16.3	3.4	11.5	23.1	2.0	1.1	8.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q7. あなたは現在どのような防災対策を行っていますか。以下の項目についてそれぞれひとつずつお選びください。

表 B7 防災対策の状況について

			1. 能登半島地震 前からしている	2. 能登半島地震を 受けてしはじめた	3. して いない
懐中電灯など携帯照明器 具の準備	全 体	744	417	93	234
		100.0	56.0	12.5	31.5
	男 性	389	210	51	128
		100.0	54.0	13.1	32.9
	女 性	355	207	42	106
		100.0	58.3	11.8	29.9
携帯ラジオなど情報端末 の準備	全 体	744	231	69	444
		100.0	31.0	9.3	59.7
	男 性	389	120	42	227
		100.0	30.8	10.8	58.4

	女	355	111	27	217
	性	100.0	31.3	7.6	61.1
非常用持ち出し袋の準備	全	744	226	123	395
	体	100.0	30.4	16.5	53.1
	男	389	103	62	224
	性	100.0	26.5	15.9	57.6
	女	355	123	61	171
	性	100.0	34.6	17.2	48.2
食料品・飲料水の準備	全	744	289	165	290
	体	100.0	38.8	22.2	39.0
	男	389	141	82	166
	性	100.0	36.2	21.1	42.7
	女	355	148	83	124
	性	100.0	41.7	23.4	34.9
家具等室内の転倒防止措置	全	744	198	93	453
	体	100.0	26.6	12.5	60.9
	男	389	104	41	244
	性	100.0	26.7	10.5	62.7
	女	355	94	52	209
	性	100.0	26.5	14.6	58.9
地震保険への加入	全	744	292	46	406
	体	100.0	39.2	6.2	54.6
	男	389	146	27	216
	性	100.0	37.5	6.9	55.5
	女	355	146	19	190
	性	100.0	41.1	5.4	53.5
自宅の耐震補強	全	744	157	41	546
	体	100.0	21.1	5.5	73.4
	男	389	77	19	293
	性	100.0	19.8	4.9	75.3
	女	355	80	22	253
	性	100.0	22.5	6.2	71.3
家族で地震対策について話し合うこと	全	744	200	196	348
	体	100.0	26.9	26.3	46.8
		389	105	87	197

	男性	100.0	27.0	22.4	50.6
	女性	355	95	109	151
災害時の連絡手段を決めておくこと	全体	100.0	26.8	30.7	42.5
		744	164	134	446
	男性	100.0	21.6	15.7	62.7
		389	84	61	244
	女性	100.0	22.5	20.6	56.9
		355	80	73	202
地震発生後の避難場所を決めておくこと	全体	100.0	28.6	16.5	54.8
		744	213	123	408
	男性	100.0	28.5	14.1	57.3
		389	111	55	223
	女性	100.0	28.7	19.2	52.1
		355	102	68	185
その他	全体	100.0	2.7	2.8	69.4
		557	20	21	516
	男性	100.0	3.6	2.1	72.8
		305	14	8	283
	女性	100.0	1.7	3.7	65.6
		252	6	13	233

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q8. 能登半島地震前と比べて以下の項目についてお選びください。

表 B8 地震前の状況について

			1. 悪くなった	2. 変わらない	3. 良くなった
収入や経済生活	全体	744	99	619	26
		100.0	13.3	83.2	3.5
	男性	389	56	320	13
		100.0	14.4	82.3	3.3
	女性	355	43	299	13
		100.0	12.1	84.2	3.7
お住まいの住環境	全体	744	99	626	19
		100.0	13.3	84.1	2.6

	男性	389	56	319	14
		100.0	14.4	82.0	3.6
	女性	355	43	307	5
		100.0	12.1	86.5	1.4
地域住民とのコミュニケーション状況	全体	744	40	677	27
		100.0	5.4	91.0	3.6
	男性	389	26	347	16
		100.0	6.7	89.2	4.1
	女性	355	14	330	11
		100.0	3.9	93.0	3.1
家族との関係	全体	744	18	668	58
		100.0	2.4	89.8	7.8
	男性	389	12	343	34
		100.0	3.1	88.2	8.7
	女性	355	6	325	24
		100.0	1.7	91.5	6.8
知的判断力	全体	744	26	673	45
		100.0	3.5	90.5	6.0
	男性	389	14	345	30
		100.0	3.6	88.7	7.7
	女性	355	12	328	15
		100.0	3.4	92.4	4.2
視力の状況	全体	744	70	663	11
		100.0	9.4	89.1	1.5
	男性	389	29	353	7
		100.0	7.5	90.7	1.8
	女性	355	41	310	4
		100.0	11.5	87.3	1.1
身体全般についての健康状態	全体	744	87	635	22
		100.0	11.7	85.3	3.0
	男性	389	46	329	14
		100.0	11.8	84.6	3.6
	女性	355	41	306	8
		100.0	11.5	86.2	2.3
		744	149	578	17

こころについての健康状態	全	100.0	20.0	77.7	2.3
	体				
	男	389	70	310	9
	性	100.0	18.0	79.7	2.3
	女	355	79	268	8
仕事や生活への意欲	性	100.0	22.3	75.5	2.3
	全	744	98	617	29
	体	100.0	13.2	82.9	3.9
	男	389	54	314	21
	性	100.0	13.9	80.7	5.4
夜間の睡眠状況	女	355	44	303	8
	性	100.0	12.4	85.4	2.3
	全	744	126	602	16
	体	100.0	16.9	80.9	2.2
	男	389	61	316	12
	性	100.0	15.7	81.2	3.1
	女	355	65	286	4
	性	100.0	18.3	80.6	1.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q9. 令和5年の奥能登地震と令和6年の能登半島地震の避難状況についてお答えください。

表 B9 避難状況について

	全体	1. 令和5年の奥能登地震の時のみ避難行動をとった	2. 令和6年の能登半島地震の時のみ避難行動をとった	3. 令和5年の奥能登地震と令和6年の能登半島地震の両方で避難行動をとった	4. 令和5年の奥能登地震と令和6年の能登半島地震のいずれでも避難行動をとらなかった
全	744	32	207	33	472
	100.0	4.3	27.8	4.4	63.4
男	389	16	106	21	246
	100.0	4.1	27.2	5.4	63.2
女	355	16	101	12	226
	100.0	4.5	28.5	3.4	63.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

C. 年齢別の集計結果

Q1. 能登半島地震発生当日から翌日にかけて、どのような場所で過ごされましたか。※複数の場所で過ごされた方は、もっとも滞在時間の長いものをお選びください。

表 C1 滞在場所について

	全体	1. 自宅 (被害なし)	2. 自宅 (被害あり)	3. 友人・知人・親戚宅に移動	4. 勤務先の建物内	5. 官公庁の建物 (例、市役所・町役場・県庁内)	6. 学校等	7. 病院、介護施設等	8. その他公共施設 (例、体育館・公民館・競技場・ラウンド)	9. 民間宿泊施設・ホテル	10. その他の民間施設 (ショッピングセンターや商業施設等)	11. 路上・野原・河原・公園等	12. 公共交通施設 (例、駅構内)	13. 車の中	14. 寺院、神社、教会等の宗教施設	15. その他
全体	744	502	149	24	9	8	6	2	9	1	4	0	0	13	3	14
	100.0	67.5	20.0	3.2	1.2	1.1	0.8	0.3	1.2	0.1	0.5	0.0	0.0	1.7	0.4	1.9
20代	68	48	7	4	0	1	1	0	0	0	2	0	0	2	2	1
	100.0	70.6	10.3	5.9	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	1.5
30代	140	99	24	5	1	2	1	0	2	0	0	0	0	4	0	2
	100.0	70.7	17.1	3.6	0.7	1.4	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4
40代	157	107	26	9	3	1	2	0	0	0	1	0	0	2	0	6
	100.0	68.2	16.6	5.7	1.9	0.6	1.3	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	1.3	0.0	3.8
50代	199	130	48	4	3	0	0	2	4	0	1	0	0	2	1	4
	100.0	65.3	24.1	2.0	1.5	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.0	0.5	2.0
60代・70代	180	118	44	2	2	4	2	0	3	1	0	0	0	3	0	1
	100.0	65.6	24.4	1.1	1.1	2.2	1.1	0.0	1.7	0.6	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q2. 能登半島地震後、あなたが最初に連絡を取ろうとした方はどなたですか。
次のうちから 1 つお選びください。実際に連絡がついたかどうかに関わらずお
選びください。※あなたからみた続柄でお答えください。

表 C2 震災後最初に連絡を取ろうとした方について

	全体	1. 配偶者	2. 両親	3. 子ども	4. 仕事の関係者	5. 友人・知人	6. 親戚	7. その他
全体	744	158	276	100	36	64	77	33
	100.0	21.2	37.1	13.4	4.8	8.6	10.3	4.4
20 代	68	9	46	0	1	6	3	3
	100.0	13.2	67.6	0.0	1.5	8.8	4.4	4.4
30 代	140	24	75	4	6	14	12	5
	100.0	17.1	53.6	2.9	4.3	10.0	8.6	3.6
40 代	157	35	65	14	9	14	15	5
	100.0	22.3	41.4	8.9	5.7	8.9	9.6	3.2
50 代	199	41	67	37	15	17	13	9
	100.0	20.6	33.7	18.6	7.5	8.5	6.5	4.5
60 代・ 70 代	180	49	23	45	5	13	34	11
	100.0	27.2	12.8	25.0	2.8	7.2	18.9	6.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q3. あなたは能登半島地震発生時、おもにどのように災害・避難情報を入手しま
したか。次のうち当てはまるものをすべてお選びください。

表 C3 情報の入手方法（複数回答）

	全体	1. テ レビ	2. ラ ジオ	3. 携 帯電 話や カー ナビ ゲー ショ ンの ワン セグ テレ ビ	4. 電 子メ ール やツ イッ ター (X) 等	5. イン ター ネッ トの WEB サイ ト	6. 新 聞	7. 役 所、 警 察、 消防 など の発 表	8. ク チコ ミ、 人付 けに 聞い て	9. 避 難 所な どの 掲 示	10. そ の 他 の 手 段	11. 災 害・避 難情報 は入手 しなか った/ できな かった
全体	744	542	77	81	137	298	79	73	61	33	5	52
	-	72.8	10.3	10.9	18.4	40.1	10.6	9.8	8.2	4.4	0.7	7.0

20代	68	35	2	9	19	22	5	5	9	6	0	9
	－	51.5	2.9	13.2	27.9	32.4	7.4	7.4	13.2	8.8	0.0	13.2
30代	140	99	10	11	31	62	8	12	6	7	1	11
	－	70.7	7.1	7.9	22.1	44.3	5.7	8.6	4.3	5.0	0.7	7.9
40代	157	113	16	21	24	61	11	11	18	8	1	12
	－	72.0	10.2	13.4	15.3	38.9	7.0	7.0	11.5	5.1	0.6	7.6
50代	199	155	29	16	31	74	21	18	12	6	3	10
	－	77.9	14.6	8.0	15.6	37.2	10.6	9.0	6.0	3.0	1.5	5.0
60代・ 70代	180	140	20	24	32	79	34	27	16	6	0	10
	－	77.8	11.1	13.3	17.8	43.9	18.9	15.0	8.9	3.3	0.0	5.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q4. あなたは能登半島地震が起きた時、どのようなことが不安でしたか。次のうちから主なものを3つまでお選びください。

表C4 地震が起きた時の不安（内容）について（複数回答）

	全体	1. 家族・ 親戚の安 否	2. 友人・ 知人の安 否	3. 自宅住 居の被害 状況	4. 自家 用車の被 害状況	5. 勤 務先の被 害状況	6. 通 信の断絶	7. 交 通のマヒ	8. 電 気・ガ ス・水 道の利 用がで きない こと	9. 原 子力発 電所の 状況	10. さ らなる 地震の 発生	11. 火 災の発 生	12. 食 料品等 の不足	13. 病 院や薬 の入手 ができ なくな ること	14. そ の他	15. 不 安に思 うこと はな かった
全体	744	259	143	220	18	58	61	69	173	57	412	48	104	14	26	50
	－	34.8	19.2	29.6	2.4	7.8	8.2	9.3	23.3	7.7	55.4	6.5	14.0	1.9	3.5	6.7
20代	68	19	15	19	1	7	4	4	15	4	24	2	9	3	0	12
	－	27.9	22.1	27.9	1.5	10.3	5.9	5.9	22.1	5.9	35.3	2.9	13.2	4.4	0.0	17.6
30代	140	46	28	36	3	11	11	10	31	6	84	6	19	4	3	12
	－	32.9	20.0	25.7	2.1	7.9	7.9	7.1	22.1	4.3	60.0	4.3	13.6	2.9	2.1	8.6
40代	157	54	27	43	4	16	12	17	42	13	88	8	22	2	6	8
	－	34.4	17.2	27.4	2.5	10.2	7.6	10.8	26.8	8.3	56.1	5.1	14.0	1.3	3.8	5.1
50代	199	73	38	70	5	12	15	19	41	11	109	9	32	4	8	13
	－	36.7	19.1	35.2	2.5	6.0	7.5	9.5	20.6	5.5	54.8	4.5	16.1	2.0	4.0	6.5

60代・70代	180	67	35	52	5	12	19	19	44	23	107	23	22	1	9	5
	－	37.2	19.4	28.9	2.8	6.7	10.6	10.6	24.4	12.8	59.4	12.8	12.2	0.6	5.0	2.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q5. 能登半島地震の時に一番頼りになった人は次のうちどれですか。次のうちから1つお選びください。

表 C5 一番頼りになった人

	全体	1. 内閣総理大臣・各省大臣	2. 都道府県知事	3. 市町村長	4. 国会議員	5. 市町村の職員	6. 教師	7. 警察	8. 消防	9. 自衛隊	10. 町内会、近隣の人々	11. 家族、親戚	12. 職場の人々	13. ボランティア、NPO	14. その他	15. 特にいない
全体	744	0	3	4	0	11	0	5	5	70	41	266	20	7	4	308
	100.0	0.0	0.4	0.5	0.0	1.5	0.0	0.7	0.7	9.4	5.5	35.8	2.7	0.9	0.5	41.4
20代	68	0	0	0	0	0	0	2	1	6	1	20	3	0	0	35
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	1.5	8.8	1.5	29.4	4.4	0.0	0.0	51.5
30代	140	0	0	0	0	4	0	0	1	20	4	50	0	2	0	59
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.7	14.3	2.9	35.7	0.0	1.4	0.0	42.1
40代	157	0	0	2	0	2	0	1	0	9	11	56	7	2	0	67
	100.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	0.6	0.0	5.7	7.0	35.7	4.5	1.3	0.0	42.7
50代	199	0	2	0	0	2	0	2	1	19	15	63	7	1	1	86
	100.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.5	9.5	7.5	31.7	3.5	0.5	0.5	43.2
60代・70代	180	0	1	2	0	3	0	0	2	16	10	77	3	2	3	61
	100.0	0.0	0.6	1.1	0.0	1.7	0.0	0.0	1.1	8.9	5.6	42.8	1.7	1.1	1.7	33.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q6. 避難所でどのような点が今後改善されるべきだと思いますか。次のうちあなたが思うものを2つまでお選びください。※避難所を利用したことが無い方も、利用するときを想定してお答えください。

表 C6 避難所の要改善点（複数回答）

	全体	1. 行政からの情報の不足	2. 携帯電話など通信・情報手段の不足	3. 安否情報の確保	4. 食べ物や飲料の不足	5. 電気の利用の不自	6. トイレなど衛生面	7. プライベートな空間の確保	8. 女性への配慮	9. 施設内の警備の強化	10. 子ども、高齢者、障害者の優先的なケア	11. 防寒対策または冷房などの空調	12. マスクなどの取	13. その他	14. 特にな
全体	744	54	65	46	173	51	346	160	85	24	78	149	17	8	76
	-	7.3	8.7	6.2	23.3	6.9	46.5	21.5	11.4	3.2	10.5	20.0	2.3	1.1	10.2
20代	68	5	6	11	13	3	20	16	8	3	1	12	2	0	15
	-	7.4	8.8	16.2	19.1	4.4	29.4	23.5	11.8	4.4	1.5	17.6	2.9	0.0	22.1
30代	140	6	5	4	37	11	59	32	16	10	20	25	1	1	20
	-	4.3	3.6	2.9	26.4	7.9	42.1	22.9	11.4	7.1	14.3	17.9	0.7	0.7	14.3
40代	157	11	12	10	33	9	71	45	18	5	11	33	6	1	13
	-	7.0	7.6	6.4	21.0	5.7	45.2	28.7	11.5	3.2	7.0	21.0	3.8	0.6	8.3
50代	199	14	17	7	46	17	106	37	25	3	20	40	3	2	20
	-	7.0	8.5	3.5	23.1	8.5	53.3	18.6	12.6	1.5	10.1	20.1	1.5	1.0	10.1
60代・70代	180	18	25	14	44	11	90	30	18	3	26	39	5	4	8
	-	10.0	13.9	7.8	24.4	6.1	50.0	16.7	10.0	1.7	14.4	21.7	2.8	2.2	4.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q7. あなたは現在どのような防災対策を行っていますか。以下の項目についてそれぞれひとつずつお選びください。

表 C7 対策の状況について

			1. 能登半島地震 前からしている	2. 能登半島地震を 受けてしはじめた	3. して いない
懐中電灯など携帯照明器具の準備	全体	744	417	93	234
		100.0	56.0	12.5	31.5
	20代	68	17	17	34
		100.0	25.0	25.0	50.0
	30代	140	59	20	61
		100.0	42.1	14.3	43.6
	40代	157	81	23	53
		100.0	51.6	14.6	33.8
	50代	199	118	19	62
		100.0	59.3	9.5	31.2
	60代・ 70代	180	142	14	24
		100.0	78.9	7.8	13.3
携帯ラジオなど情報端末の準備	全体	744	231	69	444
		100.0	31.0	9.3	59.7
	20代	68	10	16	42
		100.0	14.7	23.5	61.8
	30代	140	23	15	102
		100.0	16.4	10.7	72.9
	40代	157	53	9	95
		100.0	33.8	5.7	60.5
	50代	199	65	15	119
		100.0	32.7	7.5	59.8
	60代・ 70代	180	80	14	86
		100.0	44.4	7.8	47.8
非常用持ち出し袋の準備	全体	744	226	123	395
		100.0	30.4	16.5	53.1
	20代	68	16	17	35
		100.0	23.5	25.0	51.5
	30代	140	44	24	72
		100.0	31.4	17.1	51.4

	40 代	157	53	29	75
		100.0	33.8	18.5	47.8
	50 代	199	50	30	119
		100.0	25.1	15.1	59.8
	60 代・ 70 代	180	63	23	94
		100.0	35.0	12.8	52.2
食料品・飲料水の準備	全体	744	289	165	290
		100.0	38.8	22.2	39.0
	20 代	68	17	24	27
		100.0	25.0	35.3	39.7
	30 代	140	49	35	56
		100.0	35.0	25.0	40.0
	40 代	157	59	35	63
		100.0	37.6	22.3	40.1
	50 代	199	81	35	83
		100.0	40.7	17.6	41.7
	60 代・ 70 代	180	83	36	61
		100.0	46.1	20.0	33.9
家具等室内の転倒防止措置	全体	744	198	93	453
		100.0	26.6	12.5	60.9
	20 代	68	10	19	39
		100.0	14.7	27.9	57.4
	30 代	140	37	14	89
		100.0	26.4	10.0	63.6
	40 代	157	38	17	102
		100.0	24.2	10.8	65.0
	50 代	199	55	20	124
		100.0	27.6	10.1	62.3
	60 代・ 70 代	180	58	23	99
		100.0	32.2	12.8	55.0
地震保険への加入	全体	744	292	46	406
		100.0	39.2	6.2	54.6
	20 代	68	7	12	49
		100.0	10.3	17.6	72.1
	30 代	140	51	12	77

		100.0	36.4	8.6	55.0
	40代	157	56	7	94
		100.0	35.7	4.5	59.9
	50代	199	87	7	105
		100.0	43.7	3.5	52.8
	60代・70代	180	91	8	81
		100.0	50.6	4.4	45.0
自宅の耐震補強	全体	744	157	41	546
		100.0	21.1	5.5	73.4
	20代	68	5	10	53
		100.0	7.4	14.7	77.9
	30代	140	39	8	93
		100.0	27.9	5.7	66.4
	40代	157	36	10	111
		100.0	22.9	6.4	70.7
	50代	199	35	6	158
		100.0	17.6	3.0	79.4
	60代・70代	180	42	7	131
		100.0	23.3	3.9	72.8
家族で地震対策について話し合うこと	全体	744	200	196	348
		100.0	26.9	26.3	46.8
	20代	68	10	26	32
		100.0	14.7	38.2	47.1
	30代	140	34	36	70
		100.0	24.3	25.7	50.0
	40代	157	50	42	65
		100.0	31.8	26.8	41.4
	50代	199	52	44	103
		100.0	26.1	22.1	51.8
	60代・70代	180	54	48	78
		100.0	30.0	26.7	43.3
災害時の連絡手段を決めておくこと	全体	744	164	134	446
		100.0	22.0	18.0	59.9
	20代	68	11	19	38
		100.0	16.2	27.9	55.9

	30 代	140	24	24	92
		100.0	17.1	17.1	65.7
	40 代	157	39	29	89
		100.0	24.8	18.5	56.7
	50 代	199	38	34	127
		100.0	19.1	17.1	63.8
地震発生後の避難場所を決めておくこと	60 代・70 代	180	52	28	100
		100.0	28.9	15.6	55.6
	全体	744	213	123	408
		100.0	28.6	16.5	54.8
	20 代	68	9	20	39
		100.0	13.2	29.4	57.4
	30 代	140	33	23	84
		100.0	23.6	16.4	60.0
	40 代	157	47	26	84
		100.0	29.9	16.6	53.5
	50 代	199	55	28	116
		100.0	27.6	14.1	58.3
	60 代・70 代	180	69	26	85
		100.0	38.3	14.4	47.2
その他	全体	744	20	21	516
		－	2.7	2.8	69.4
	20 代	68	5	3	46
		－	7.4	4.4	67.6
	30 代	140	3	4	97
		－	2.1	2.9	69.3
	40 代	157	2	3	107
		－	1.3	1.9	68.2
	50 代	199	1	3	150
		－	0.5	1.5	75.4
	60 代・70 代	180	9	8	116
		－	5.0	4.4	64.4

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q8. 能登半島地震前と比べて以下の項目についてお選びください。

表 C8 地震前の状況について

			1. 悪くなった	2. 変わらない	3. 良くなった
収入や経済生活	全体	744	99	619	26
		100.0	13.3	83.2	3.5
	20代	68	6	55	7
		100.0	8.8	80.9	10.3
	30代	140	6	126	8
		100.0	4.3	90.0	5.7
	40代	157	24	125	8
		100.0	15.3	79.6	5.1
	50代	199	37	160	2
		100.0	18.6	80.4	1.0
	60代・70代	180	26	153	1
		100.0	14.4	85.0	0.6
お住まいの住環境	全体	744	99	626	19
		100.0	13.3	84.1	2.6
	20代	68	5	58	5
		100.0	7.4	85.3	7.4
	30代	140	11	125	4
		100.0	7.9	89.3	2.9
	40代	157	19	132	6
		100.0	12.1	84.1	3.8
	50代	199	33	165	1
		100.0	16.6	82.9	0.5
	60代・70代	180	31	146	3
		100.0	17.2	81.1	1.7
地域住民とのコミュニケーション状況	全体	744	40	677	27
		100.0	5.4	91.0	3.6
	20代	68	2	63	3
		100.0	2.9	92.6	4.4
	30代	140	5	130	5
		100.0	3.6	92.9	3.6
	40代	157	10	141	6
		100.0	6.4	89.8	3.8

	50 代	199	11	182	6
		100.0	5.5	91.5	3.0
	60 代・ 70 代	180	12	161	7
		100.0	6.7	89.4	3.9
家族との関係	全体	744	18	668	58
		100.0	2.4	89.8	7.8
	20 代	68	3	57	8
		100.0	4.4	83.8	11.8
	30 代	140	4	126	10
		100.0	2.9	90.0	7.1
	40 代	157	4	141	12
		100.0	2.5	89.8	7.6
	50 代	199	6	179	14
		100.0	3.0	89.9	7.0
	60 代・ 70 代	180	1	165	14
		100.0	0.6	91.7	7.8
知的判断力	全体	744	26	673	45
		100.0	3.5	90.5	6.0
	20 代	68	4	55	9
		100.0	5.9	80.9	13.2
	30 代	140	3	128	9
		100.0	2.1	91.4	6.4
	40 代	157	7	140	10
		100.0	4.5	89.2	6.4
	50 代	199	7	182	10
		100.0	3.5	91.5	5.0
	60 代・ 70 代	180	5	168	7
		100.0	2.8	93.3	3.9
視力の状況	全体	744	70	663	11
		100.0	9.4	89.1	1.5
	20 代	68	6	60	2
		100.0	8.8	88.2	2.9
	30 代	140	8	129	3
		100.0	5.7	92.1	2.1
	40 代	157	18	135	4

		100.0	11.5	86.0	2.5
	50代	199	20	177	2
		100.0	10.1	88.9	1.0
	60代・70代	180	18	162	0
		100.0	10.0	90.0	0.0
身体全般についての健康状態	全体	744	87	635	22
		100.0	11.7	85.3	3.0
	20代	68	7	55	6
		100.0	10.3	80.9	8.8
	30代	140	8	124	8
		100.0	5.7	88.6	5.7
	40代	157	22	130	5
		100.0	14.0	82.8	3.2
	50代	199	27	171	1
		100.0	13.6	85.9	0.5
	60代・70代	180	23	155	2
		100.0	12.8	86.1	1.1
こころについての健康状態	全体	744	149	578	17
		100.0	20.0	77.7	2.3
	20代	68	10	54	4
		100.0	14.7	79.4	5.9
	30代	140	23	111	6
		100.0	16.4	79.3	4.3
	40代	157	34	120	3
		100.0	21.7	76.4	1.9
	50代	199	45	151	3
		100.0	22.6	75.9	1.5
	60代・70代	180	37	142	1
		100.0	20.6	78.9	0.6
仕事や生活への意欲	全体	744	98	617	29
		100.0	13.2	82.9	3.9
	20代	68	7	51	10
		100.0	10.3	75.0	14.7
	30代	140	20	113	7
		100.0	14.3	80.7	5.0

	40 代	157	18	133	6
		100.0	11.5	84.7	3.8
	50 代	199	30	164	5
		100.0	15.1	82.4	2.5
	60 代・ 70 代	180	23	156	1
		100.0	12.8	86.7	0.6
	全体	744	126	602	16
		100.0	16.9	80.9	2.2
	20 代	68	11	51	6
		100.0	16.2	75.0	8.8
夜間の睡眠状況	30 代	140	17	117	6
		100.0	12.1	83.6	4.3
	40 代	157	29	126	2
		100.0	18.5	80.3	1.3
	50 代	199	34	164	1
		100.0	17.1	82.4	0.5
	60 代・ 70 代	180	35	144	1
		100.0	19.4	80.0	0.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q9. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震の避難状況についてお答えください。

表 C9 避難状況について

	全体	1. 令和 5 年の 奥能登地震の 時のみ避難行 動をとった	2. 令和 6 年の 能登半島地震 時のみ避難 行動をとった	3. 令和 5 年の奥能登 地震と令和 6 年の能 登半島地震の両方で 避難行動をとった	4. 令和 5 年の奥能登地 震と令和 6 年の能登半 島地震のいずれでも避 難行動をとらなかった
全体	744	32	207	33	472
	100.0	4.3	27.8	4.4	63.4
20 代	68	7	14	4	43
	100.0	10.3	20.6	5.9	63.2
30 代	140	3	51	8	78
	100.0	2.1	36.4	5.7	55.7
40 代	157	10	39	13	95
	100.0	6.4	24.8	8.3	60.5
50 代	199	5	50	5	139

	100.0	2.5	25.1	2.5	69.8
60代・ 70代	180	7	53	3	117
	100.0	3.9	29.4	1.7	65.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

D. 能登半島地震に関するアンケート調査票

この調査の目的は、石川県在住のモニター会員を対象に奥能登地震及び能登半島地震後の状況について、学術的な調査を行うことです。調査結果は東北大学で統計的に処理を行い、個人を特定できないように集計します。質問内容等によっては、無理にご回答をせずに、調査を始めた後でも中断しても構いません（途中で回答をやめた場合はポイントはもらえません）。結果だけが統計的に集計され、どなたがお答えになったかは一切調査者にはわからないようにされています。以上、この調査の趣旨をご理解の上、ご回答いただける場合には、調査にお進みください。ここで、奥能登地震は令和 5 年 5 月 5 日に発生した地震を指しており、能登半島地震は令和 6 年 1 月 1 日に発生した地震を指しています。

Q1. あなたは令和 6 年 1 月 1 日の能登半島地震の発災時にどちらにお住まいでしたか。

※プライバシー保護の観点から、番地以下は記入しないようにしてください。

市町村名：

Q2. 能登半島地震発生当日から翌日にかけて、どのような場所で過ごされましたか。※複数の場所で過ごされた方は、もっとも滞在時間の長いものをお選びください。

1. 自宅（被害なし）
2. 自宅（被害あり）
3. 友人・知人・親戚宅に移動
4. 勤務先の建物内
5. 官公庁の建物（例、市役所・町役場・県庁）内
6. 学校等
7. 病院、介護施設等
8. その他公共施設（例、体育館・公民館・競技場・ラウンド）
9. 民間宿泊施設・ホテル
10. その他の民間施設（ショッピングセンターや商業施設等）
11. 路上・野原・河原・公園等
12. 公共交通施設（例、駅構内）
13. 車の中
14. 寺院、神社、教会等の宗教施設
15. その他

Q3. 能登半島地震後、あなたが最初に連絡を取ろうとした方はどなたですか。

次のうちから 1 つお選びください。実際に連絡がついたかどうかに関わらずお選びください。※あなたからみた続柄でお答えください。

1. 配偶者
2. 両親

3. 子ども
4. 仕事の関係者
5. 友人・知人
6. 親戚
7. その他

Q4. あなたは能登半島地震発生時、おもにどのように災害・避難情報を入手しましたか。次のうち当てはまるものをすべてお選びください。

1. テレビ
2. ラジオ
3. 携帯電話やカーナビゲーションのワンセグテレビ
4. 電子メールやツイッター（X）等
5. インターネットのWEB サイト
6. 新聞
7. 役所、警察、消防などの発表
8. クチコミ、人付けに聞いて
9. 避難所などの掲示
10. その他の手段
11. 災害・避難情報は入手しなかった/できなかった

Q5. あなたは能登半島地震が起きた時、どのようなことが不安でしたか。次のうちから主なものを3つまでお選びください。

1. 家族・親戚の安否
2. 友人・知人の安否
3. 自宅住居の被害状況
4. 自家用車の被害状況
5. 勤務先の被害状況
6. 通信の断絶
7. 交通のマヒ
8. 電気・ガス・水道の利用ができないこと
9. 原子力発電所の状況
10. さらなる地震の発生
11. 火災の発生
12. 食料品等の不足
13. 病院や薬の入手ができなくなること

14. その他
15. 不安に思うことはなかった

Q6. 能登半島地震の時に一番頼りになった人は次のうちどれですか。次のうちから 1 つお選びください。

1. 内閣総理大臣・各省大臣
2. 都道府県知事
3. 市町村長
4. 国会議員
5. 市町村の職員
6. 教師
7. 警察
8. 消防
9. 自衛隊
10. 町内会、近隣の人々
11. 家族、親戚
12. 職場の人々
13. ボランティア、NPO
14. その他
15. 特にいない

Q7. 避難所でどのような点が今後改善されるべきだと思いますか。次のうちあなたが思うものを 2 つまでお選びください。※避難所を利用したことが無い方も、利用するときを想定してお答えください。

1. 行政からの情報の不足
2. 携帯電話など通信・情報手段の不足
3. 安否情報の確保
4. 食べ物や飲料の不足
5. 電気の利用の不自由
6. トイレなど衛生面
7. プライベートな空間の確保
8. 女性への配慮
9. 施設内の警備の強化
10. 子ども、高齢者、障害者の優先的なケア
11. 防寒対策または冷房などの空調

12. マスコミの取材などの集中
13. その他
14. 特になし

Q8. あなたは現在どのような防災対策を行っていますか。以下の項目についてそれぞれひとつずつお選びください。

	1. 能登半島地震前からしている	2. 能登半島地震を受けてしはじめた	3. していない
1. 懐中電灯など携帯照明器具の準備			
2. 携帯ラジオなど情報端末の準備			
3. 非常用持ち出し袋の準備			
4. 食料品・飲料水の準備			
5. 家具等室内の転倒防止措置			
6. 地震保険への加入			
7. 自宅の耐震補強			
8. 家族で地震対策について話し合うこと			
9. 災害時の連絡手段を決めておくこと			
10. 地震発生後の避難場所を決めておくこと			
11. その他			

Q9. 能登半島地震前と比べて以下の項目についてお選びください。

	1. 悪くなった	2. 変わらない	3. 良くなった
1. 収入や経済生活			
2. お住まいの住環境			
3. 地域住民のコミュニケーション状況			
4. 家族との関係			
5. 知的判断力			
6. 視力の状況			
7. 身体全般についての健康状態			
8. こころについての健康状態			
9. 仕事や生活への意欲			
10. 夜間の睡眠状況			

Q10. 令和5年の奥能登地震と令和6年の能登半島地震の避難状況についてお答えください。

1. 令和5年の奥能登地震の時のみ避難行動をとった

2. 令和 6 年の能登半島地震の時のみ避難行動をとった
3. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震の両方で避難行動をとった
4. 令和 5 年の奥能登地震と令和 6 年の能登半島地震のいずれでも避難行動をとらなかった